

# 最近の県経済動向

Fukushima Economic Performance Monthly

平成21年1月26日


## 目次

1 本県の経済概況	1～2
2 主な指標の動き	3
(1) 個人消費	3～4
(2) 建設需要	5～7
(3) 生産活動	8～10
(4) 雇用・労働	11～13
(5) 物価	14
(6) 企業・金融	15～16
(7) 市場	17
(8) 中小企業の業況	18
3 主要経済指標	19～24
4 参考	25
1 中小企業経営動向調査((財)福島県産業振興センター)	25～26
2 中小企業景況レポート(福島県中小企業団体中央会)	27～29
3 農林水産業の動向(福島県農林水産部)	29
4 景気動向指数(福島県)	30
5 福島県金融経済概況(日本銀行福島支店)	31
6 月例経済報告(内閣府)	31
7 「最近の県経済動向」総合判断(福島県)	31

# 1 本県の経済概況


## ◆ 総合判断

県内の景気は、世界的な金融危機と実体経済の悪化を背景に、生産活動は減少し、雇用がさらに厳しさを増し、個人消費も弱い状態が続くなど悪化している。

(総合判断: 下方修正  )

### 個別判断

### ◆ 概要

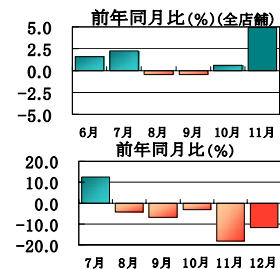
(1) 個人消費  ◆ 生活防衛意識の高まりから、引き続き弱い状態にある。


#### ◆ 大型小売店販売額 (11月)

全店舗ベースで総額193億円、対前年同月比4.9%増(既存店前年同月比2.9%増)となり、2か月連続で前年を上回っている。

#### ◆ 乗用車新規登録台数 (12月)

新規登録台数は4,001台、対前年同月比11.7%減となり、5か月連続で前年を下回っている。



(2) 建設需要  ◆ 民間需要は業務用建築物で前年の改正建築基準法の影響による減少の反動増となっている。公共工事は横ばいで推移している。

#### ◆ 新設住宅着工戸数 (11月)

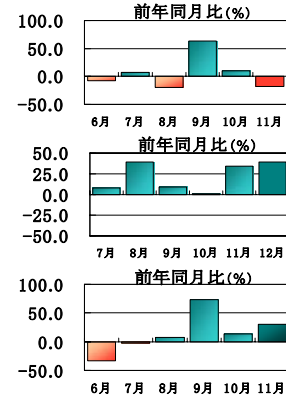
新設住宅着工戸数は946戸、対前年同月比17.8%減となり、3か月振りに前年を下回っている。


#### ◆ 公共工事請負金額 (12月)

工事請負金額は総額約183億円、対前年同月比39.3%増となり、6か月連続で前年を上回っている。

#### ◆ 業務用建築物着工棟数 (11月)

業務用着工棟数は216棟、対前年同月比30.9%増となり、4か月連続で前年を上回っている。



(3) 生産活動  ◆ 減少している。引き続き生産の調整が急速に進んでいる。

#### ◆ 鉱工業指数 (11月)

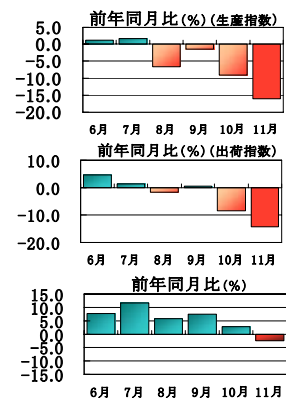
鉱工業生産指数は95.3(原指数・速報値)、対前年同月比16.1%減となり、4か月連続で前年を下回っている。

鉱工業出荷指数は100.8(原指数・速報値)、対前年同月比14.2%減となり、2か月連続で前年を下回っている。

鉱工業在庫指数は129.0(原指数・速報値)、対前年同月比23.9%増となり、18か月連続で前年を上回っている。

#### ◆ 大口電力使用量 (11月)

電力使用量は558,103kWh、対前年同月比2.3%減となり、5年4か月振りに前年を下回っている。



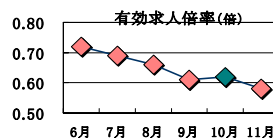
(4) 雇用・労働 【 ➡ 】 ◆ 雇用はさらに厳しさを増している。  
労働は所定外労働時間の大幅な減少など弱い動きとなっている。

◆ 求人倍率 (11月)

新規求人倍率は0.82倍(季節調整値)、前月より0.07ポイント低下した。

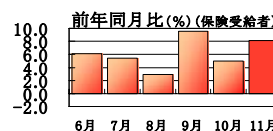
有効求人倍率は0.58倍(季節調整値)、前月より0.04ポイント低下した。

なお、有効求人数は13か月連続で前年を下回っており、一方、有効求職者数は14か月連続で前年を上回っている。



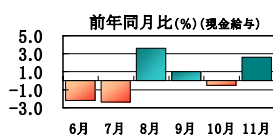
◆ 雇用保険受給者実人員 (11月)

受給者実人員は9,529人、対前年同月比8.1%増となり、6か月連続で前年を上回った。



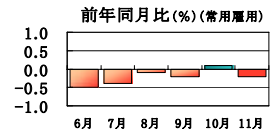
◆ 労働 (11月)

現金給与総額指数は85.7(事業所規模5人以上)、対前年同月比2.6%増となり、2か月振りに前年を上回っている。なお、事業所規模30人以上は83.1、対前年同月比2.4%減となり、5か月連続で前年を下回っている。



所定外労働時間指数は91.2、対前年同月比14.8%減となり、3か月連続で前年を下回っている。

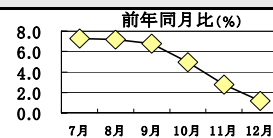
常用雇用指数は100.2、対前年同月比0.2%減となり、2か月振りに前年を下回っている。



(5) 物価 【 ➡ 】 ◆ 企業物価は足もとで下落している。  
消費者物価指数(CPI)は前年を上回る動きが続いているが、伸びは鈍化している。

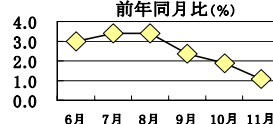
◆ 国内企業物価指数(12月)

物価指数は106.6(速報値)、対前年同月比1.1%増となり、平成16年3月以降、前年を上回る動きが続いている。なお、対前月比は1.2%減となり、5か月連続で下落している。



◆ 福島市消費者物価指数 (11月)

物価指数は102.2となり、対前年同月比1.1%増となり、17か月連続で前年を上回っている。

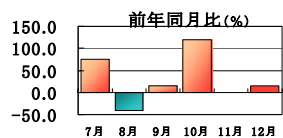


(6) 企業・金融 【 ➡ 】 ◆ 企業倒産は件数が高水準にあり、予断を許さない  
状況が続いている。  
金融預貸残高は預金、貸出ともに増加している。

◆ 企業倒産(12月)

倒産件数は23件、対前年同月比15.0%増となり、2か月振りに前年を上回っている。

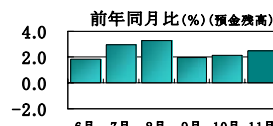
負債総額は40億700万円、対前年同月比5.6%増となり、2か月連続で前年を上回っている。



◆ 金融機関預貸残高 (11月)

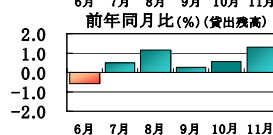
預金残高は6兆2,750億円、対前年同月比2.5%増となり、平成19年3月以降、前年を上回る動きが続いている。

貸出残高は3兆8,335億円、対前年同月比1.3%増となり、5か月連続で前年を上回っている。



◆ 貸出約定平均金利 (11月)

平均金利は2.160%となり、前月より0.015ポイント上昇し、2か月振りに前月を上回っている。



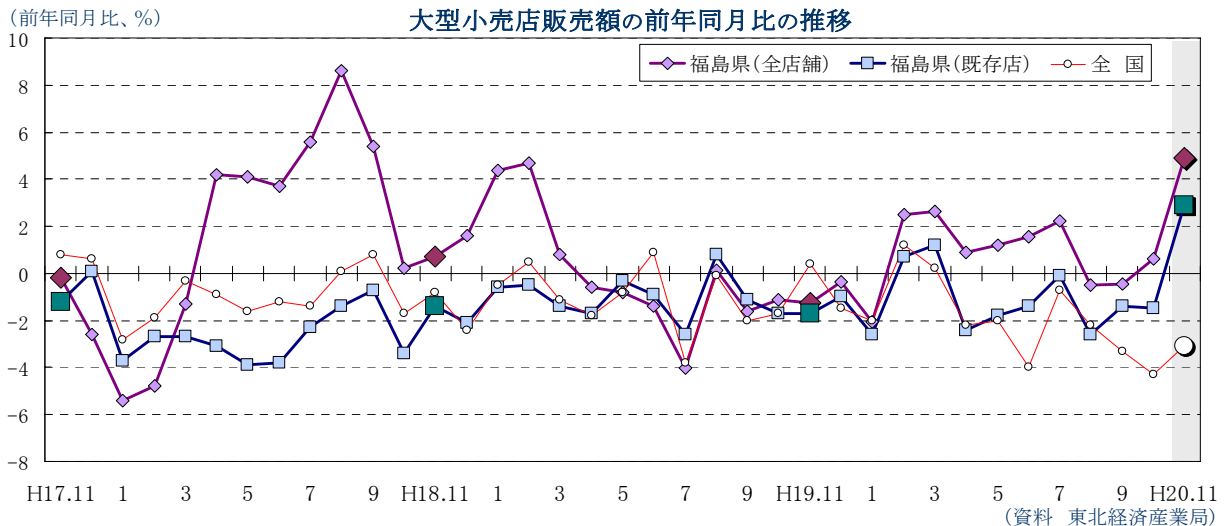
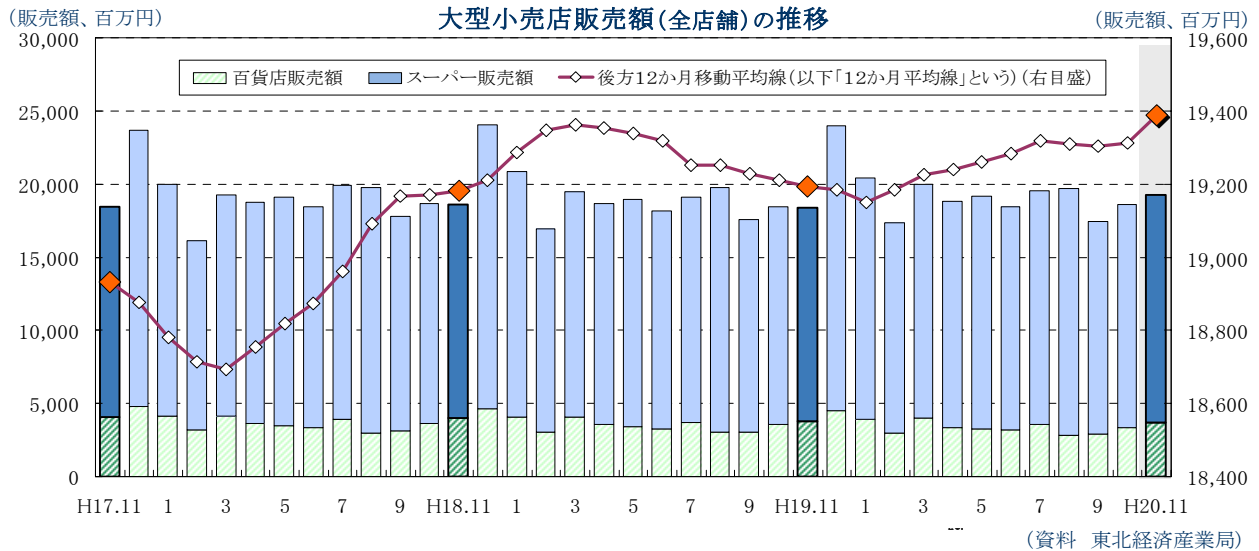
※備考 1 指標名が緑字の場合には、前回公表より指標が改善したことを表しており、指標名が赤字の場合には、前回公表より指標が悪化していることを表しており、指標名が灰色の場合には、同水準で推移している、または個別には判断のつかない指標であることを表しています。

## 2 主な指標の動き

### (1) 個人消費

◆ **大型小売店販売額(11月)**は全店舗ベースで**総額193億円**、対前年同月比**4.9%増**となり、**2か月連続**で前年を上回っている。一方、既存店ベースの対前年同月比は**2.9%増**となり、**8か月振り**に前年を上回っている。

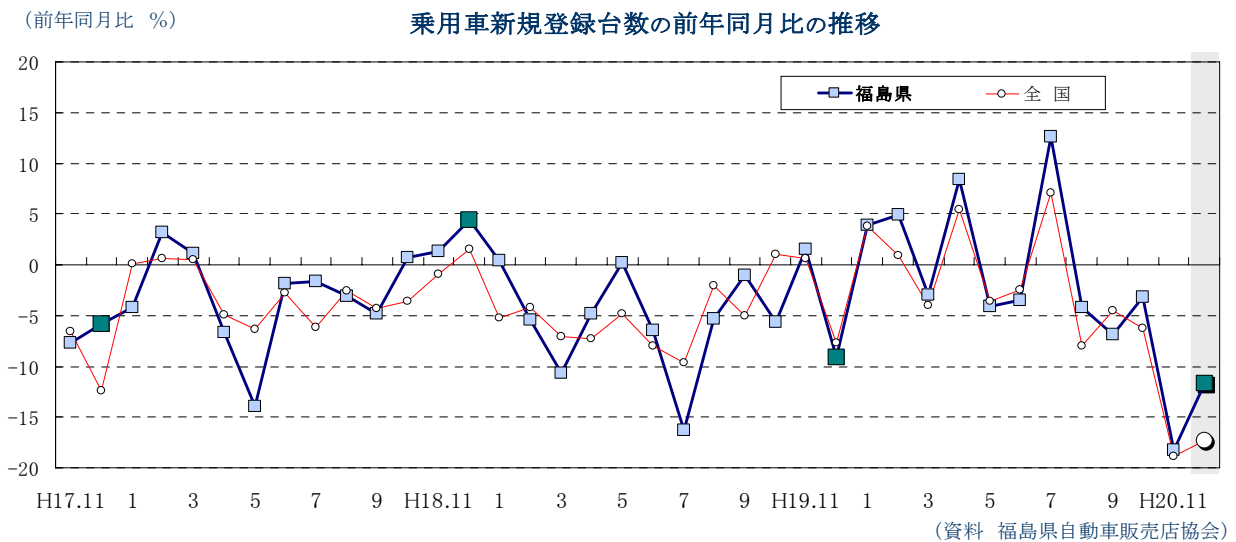
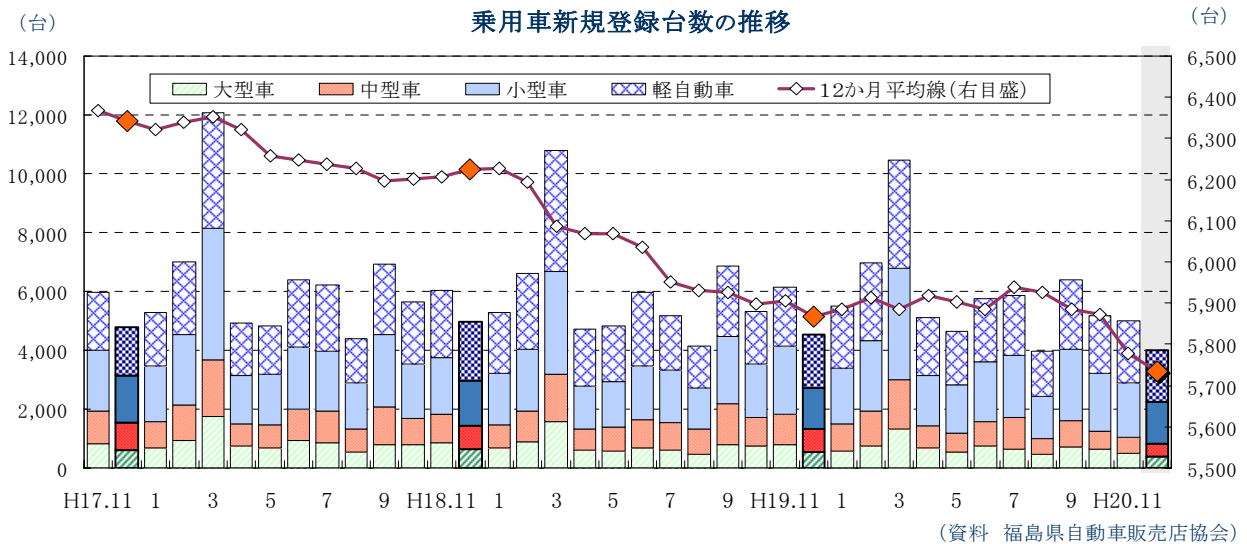
内訳をみると、百貨店は、対前年同月比**2.2%減**。一方、スーパーは全店舗ベースで対前年同月比**6.8%増**、既存店ベースで対前年同月比**4.3%増**となっている。



#### 【大型小売店販売額】

調査対象となる百貨店5店とスーパー76店(11月末現在)の総販売金額です。既存店ベースの前年同月比とは、前年同月も調査の対象であった店舗のみを比較するものです。過去1年間に開・廃業した店舗の販売額は除かれているので、前年と同一条件で消費動向をみることができます。

◆ 乗用車新規登録台数(12月)は4,001台、対前年同月比11.7%減となり、5か月連続で前年を下回っている。  
 内訳をみると、小型車は前年を上回った。一方、大型車・中型車、軽自動車は前年を下回った。

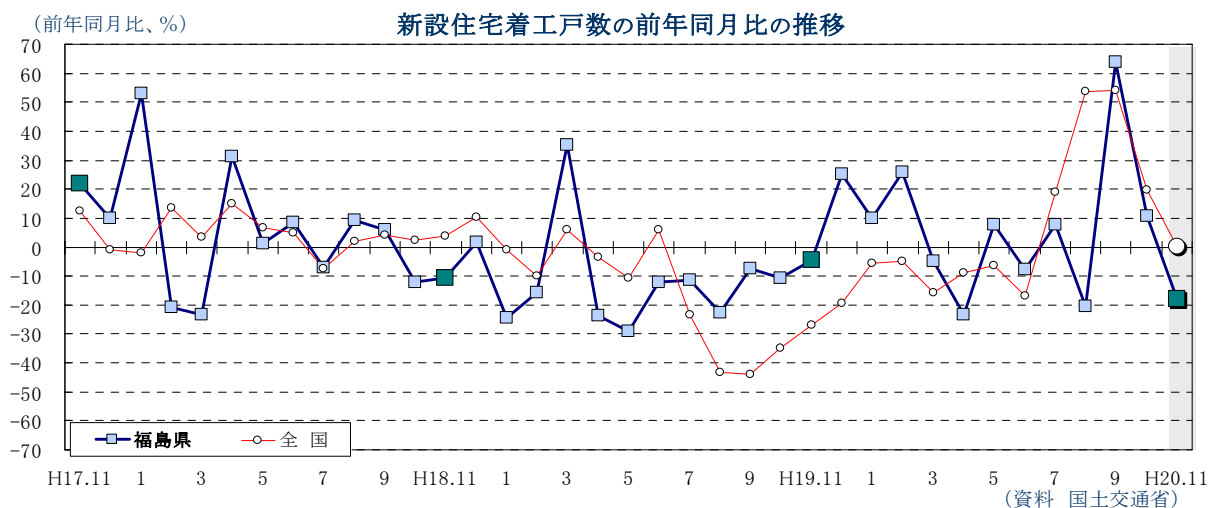
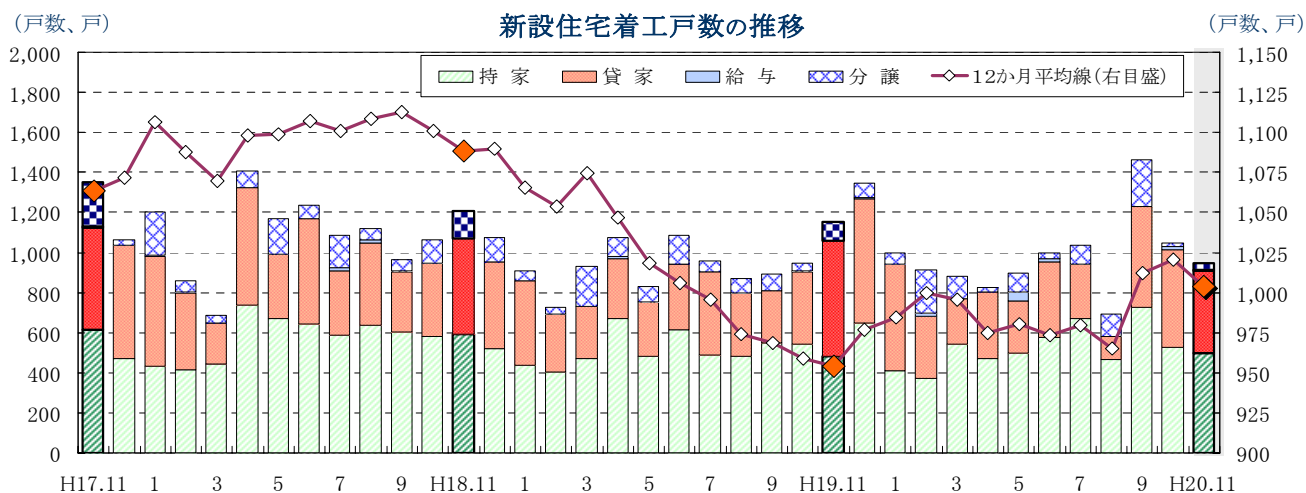


### 【乗用車新規登録台数】

乗用車の購入により、運輸支局及び軽自動車検査協会に登録された台数です。耐久消費財の販売動向を消費側からとらえた統計です。自動車を購入した際には必ず登録をするため網羅性があり、速報性もあります。3月や9月の決算期には台数が多くなるなど、顕著な季節性があります。

## (2) 建設需要

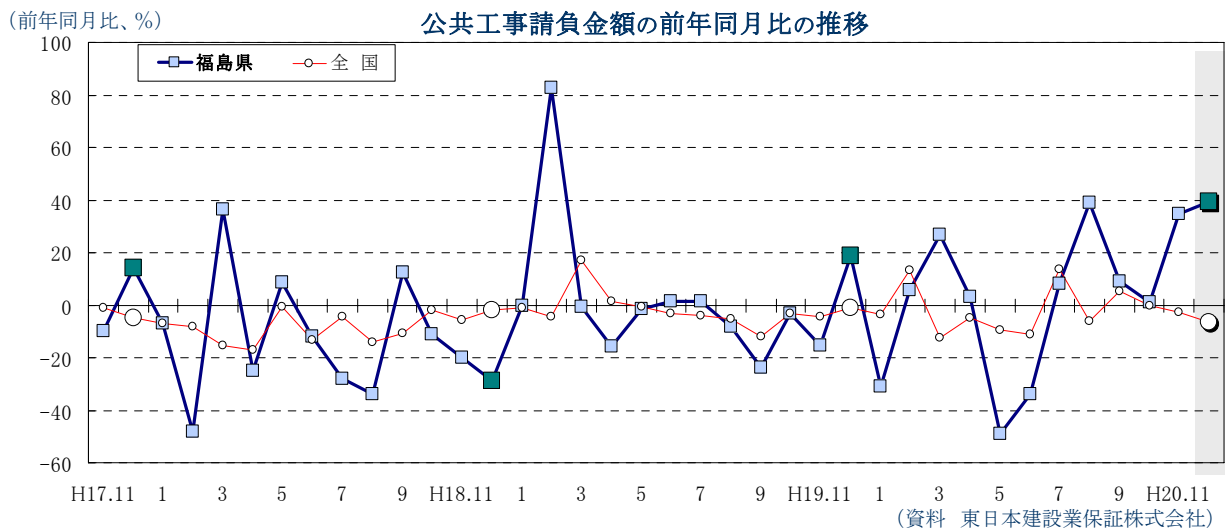
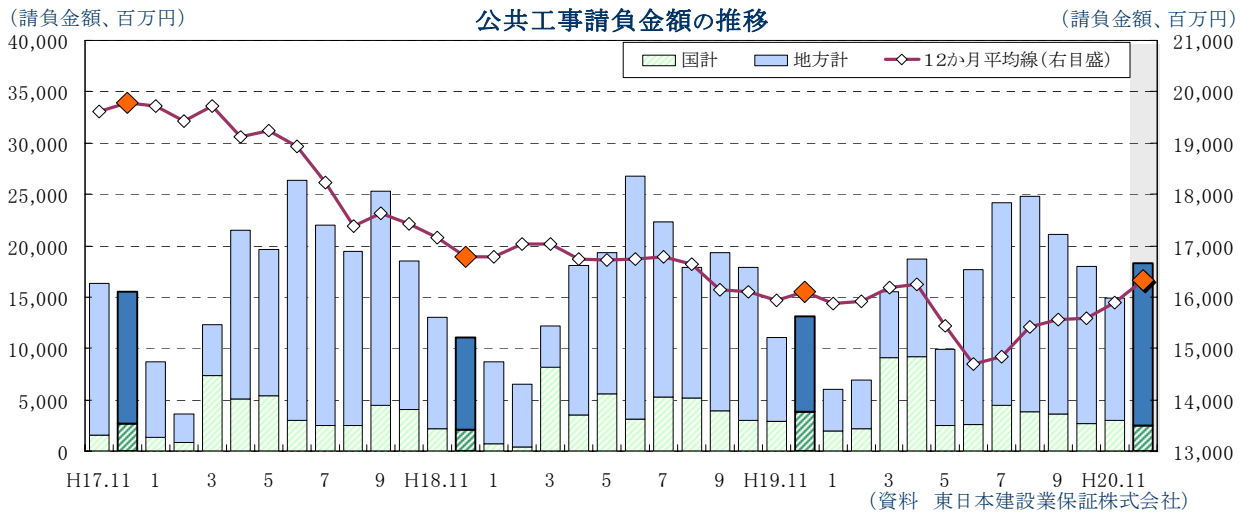
◆ 新設住宅着工戸数(11月)は946戸、対前年同月比17.8%減となり、3か月振りに前年を下回っている。



### 【新設住宅着工戸数】

家やマンションを建てる時に、建築主から都道府県知事にその旨を届けた戸数を集計したもので、住宅投資の動きを示す代表的な指標です。進捗ベースではなく、着工ベースの指標のため速報性があります。所得・地価・建築費・金利などに敏感に反応して動きます。また、政府の景気対策で「住宅ローン減税」のような政策の影響も受けます。

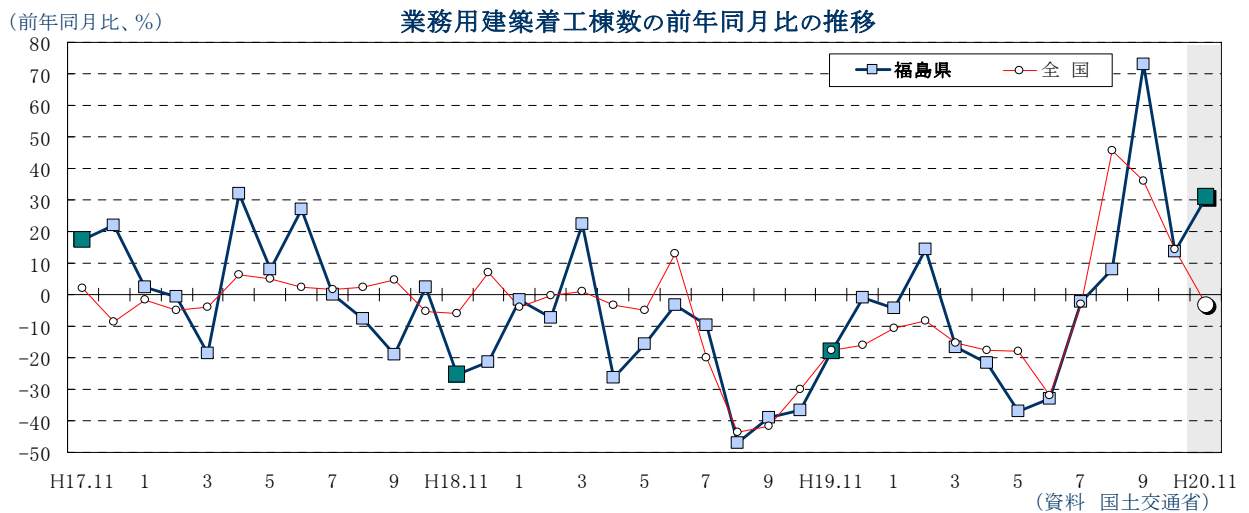
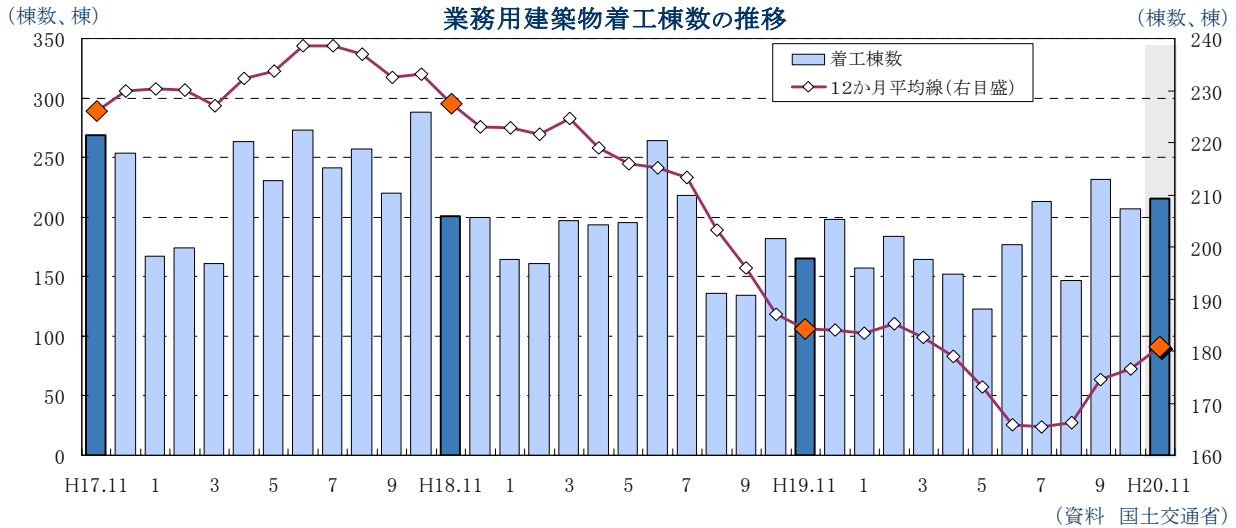
◆ **公共工事請負金額(12月)**は総額約183億円、対前年同月比**39.3%増**となり、**6か月連続**で前年を上回っている。  
 内訳をみると、国の機関は2か月振りに前年を下回っている。一方、地方の機関は6か月連続で前年を上回っている。



**【公共工事請負額】**

国、地方公共団体、独立行政法人等が発注した公共工事のうち、保証事業会社の保証による公共工事について、保証事業会社が請負金額を取りまとめて集計したもので、発注者ごとに分かります。

◆ 業務用建築物着工棟数(11月)は216棟、対前年同月比30.9%増となり、4か月連続で前年を上回っている。



【業務用建築物着工棟数】

建築主が建築物を建築しようとする場合は、その旨を都道府県知事に届けなければならない、この届出をもとに集計したものが建築物着工統計です。進捗ベースではなく、着工ベースの指標ため速報性があります。「業務用」とは、全建築物から居住専用と居住産業併用を除いたもので、企業の設備投資を反映します。

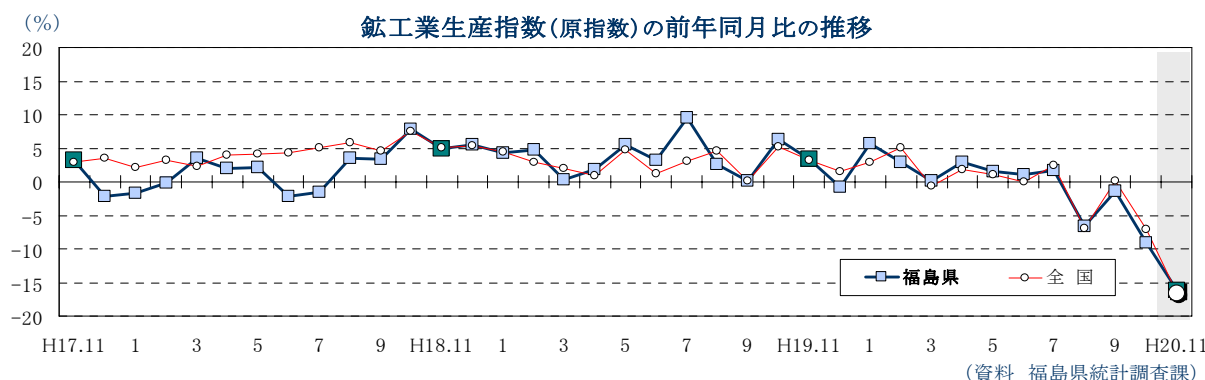
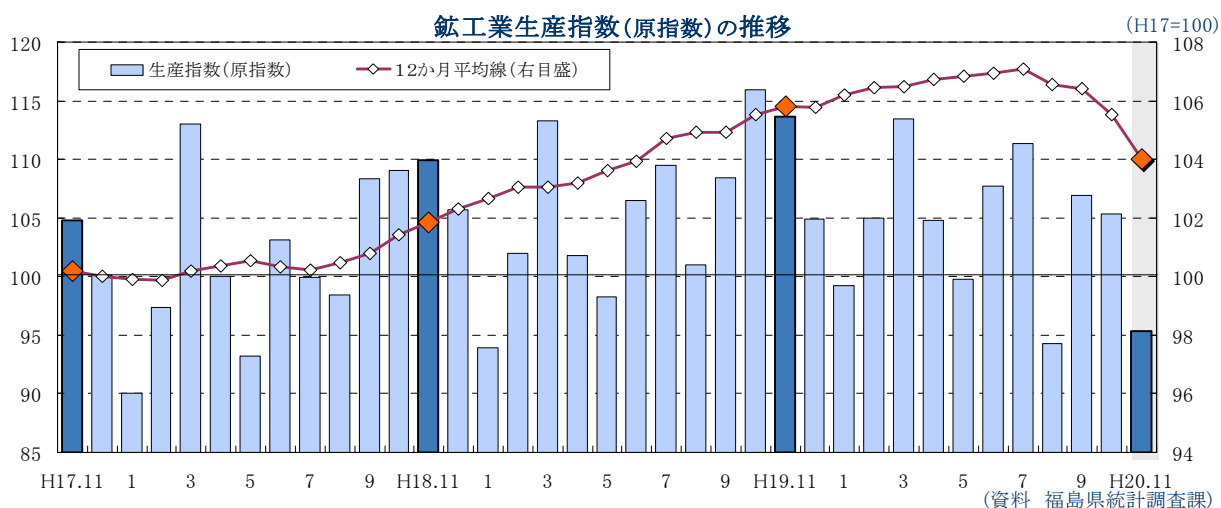


### (3) 生産活動

◆ **鉱工業生産指数(11月)**は原指数**95.3**(速報値)、対前年同月比**16.1%減**となり、4か月連続で前年を下回っている。季節調整済指数は93.3(速報値)、対前月比6.6%減となり、2か月連続で前月を下回っている。業種別(原指数)では、電気機械工業のみが前年を上回り、他の業種はすべて前年を下回っている。

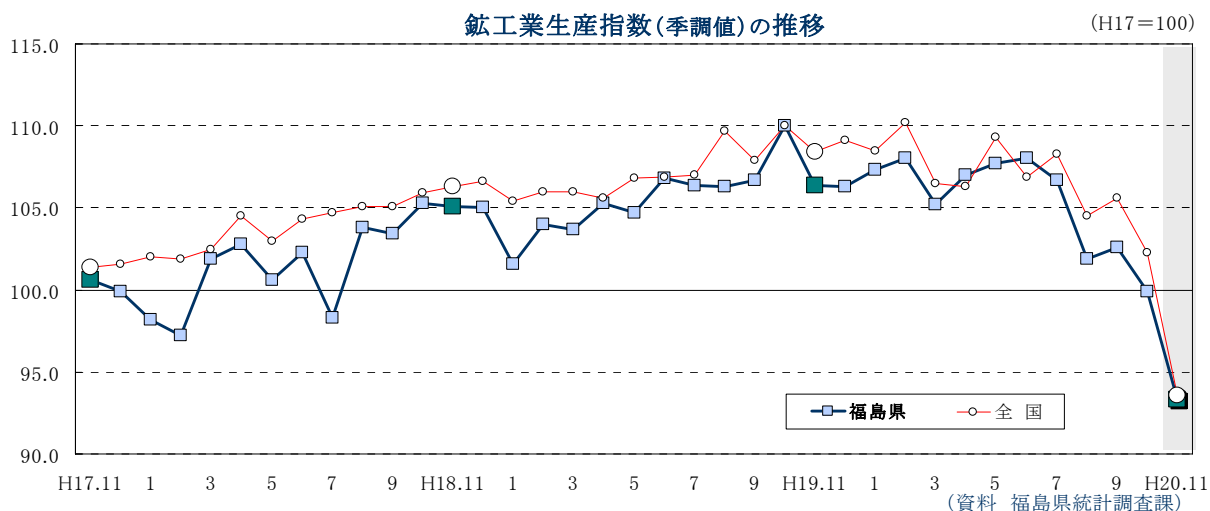
◆ **鉱工業出荷指数(11月)**は原指数**100.8**(速報値)、対前年同月比**14.2%減**となり、2か月連続で前年を下回っている。季節調整済指数は101.5(速報値)、対前月比1.6%減となり、3か月連続で前月を下回っている。

◆ **鉱工業在庫指数(11月)**は原指数**129.0**(速報値)、対前年同月比**23.9%増**となり、18か月連続で前年を上回っている。季節調整済指数は130.3(速報値)、対前月比1.1%減となり、3か月振りに前月を下回っている。



#### 【鉱工業指数】

鉱工業製品の生産量、出荷量、在庫量を基準年を100として(平成17年=100)指数化したものです。好況時にはモノがよく売れ、企業が製品を増産するため生産、出荷とも上昇します。景気が悪化してくるとモノが売れなくなるため出荷の減少、在庫の増加局面を経て生産の減少に至ります。



### 【原指数と季節調整済指数】

鉱工業指数の原指数は、指数作成用データをそのまま指数化したもので、大型連休や決算期等の季節的要因の影響を受けて、毎年一定の変動を繰り返しています。長期的な動向をみる場合は、主に原指数の前年同月比が使用されます。

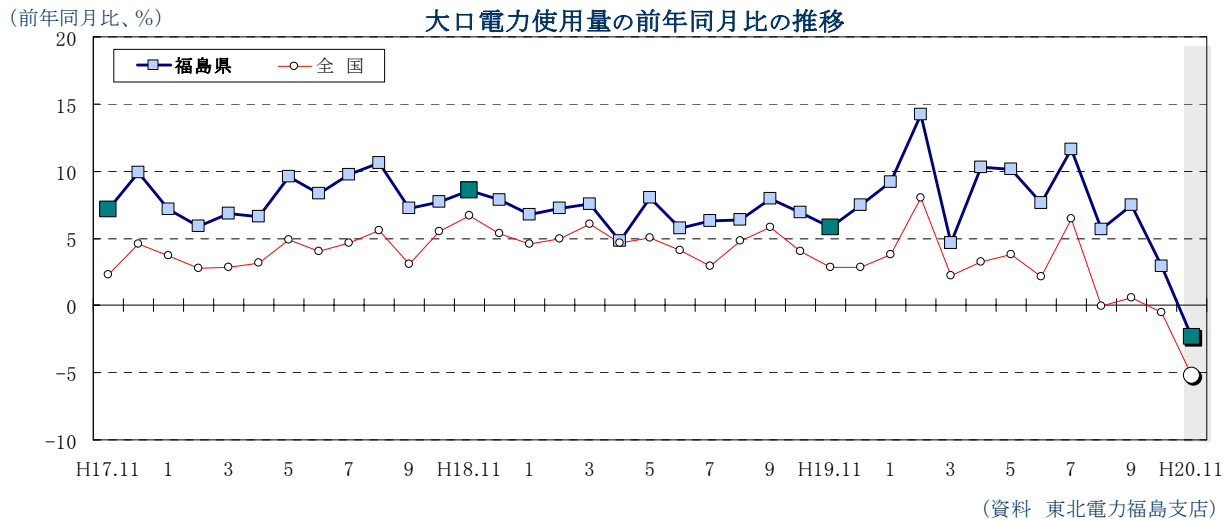
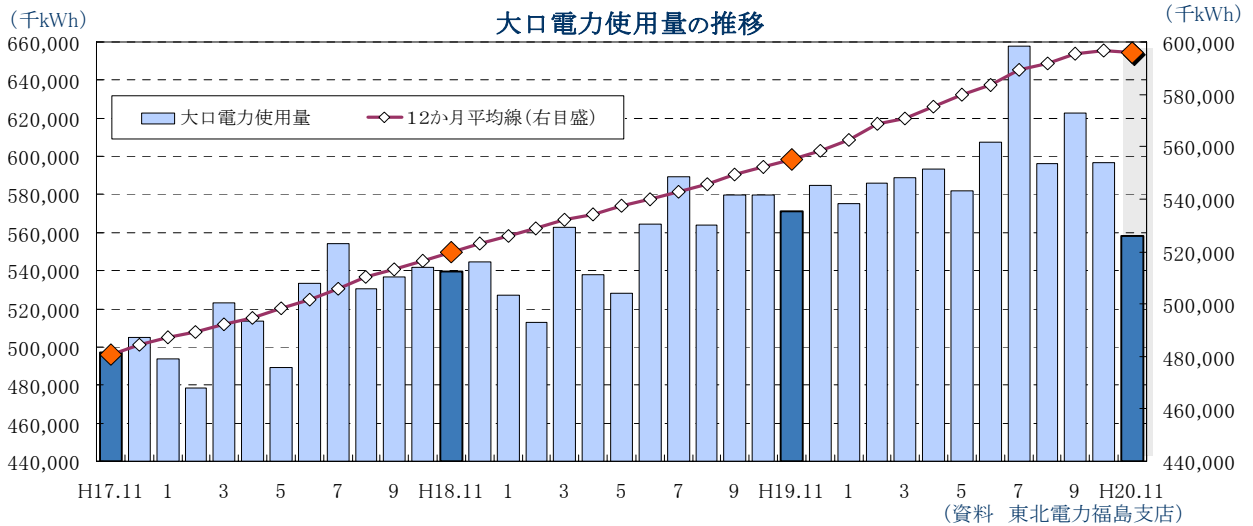
一方、季節調整済指数は、原指数から季節的要因を取り除き、毎月同じ基準で指数の動きがみられるようになっており、直近の動向をみる場合は、主に季節調整済指数の前月比が使用されます。

### 【前月比と前年同月比】

前年の同じ月と比較した増減を示す「前年同月比」は量的水準の変動を示し、前月と比較した増減を示す「前月比」は直近の変化方向(瞬間風速)を示します。経済統計には季節性を持つものがあり、単純に前月と比較できない場合があるので、季節調整値で前月比を求める場合と、季節性のない統計(例:金利等)では季節調整をかけずに前月比をとる場合があります。

鉱工業指数では原指数の前年同月比で1年前の水準との違いをみて、また、季節調整済指数の前月比で足下の動きをみるというように複合的に利用します。

◆ 大口電力使用量(11月)は558,103千kWh、対前年同月比2.3%減となり、5年4か月振りに前年を下回っている。



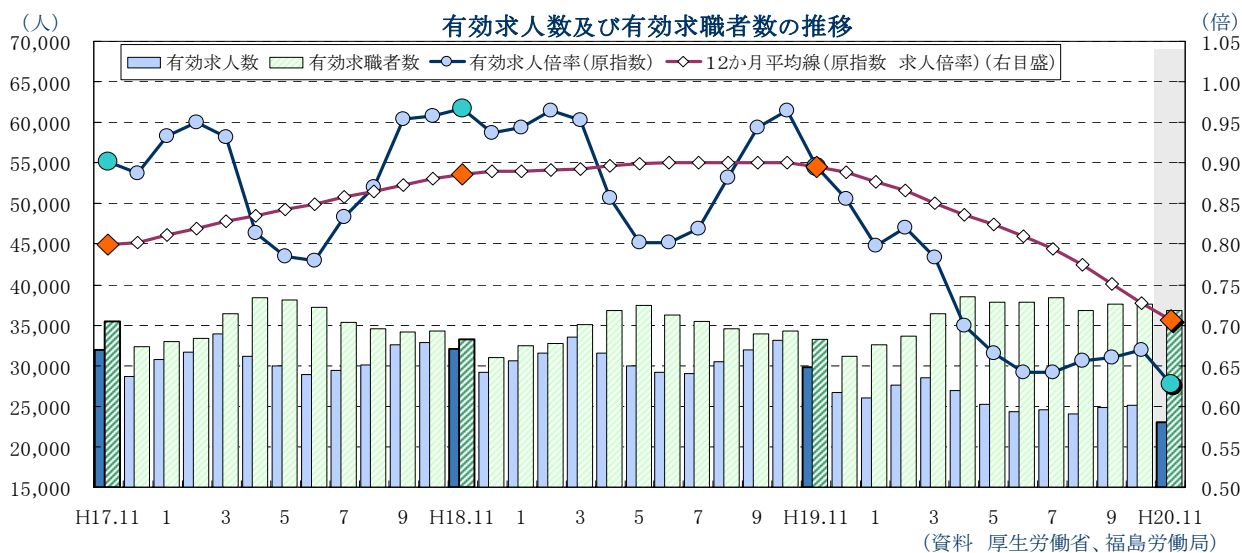
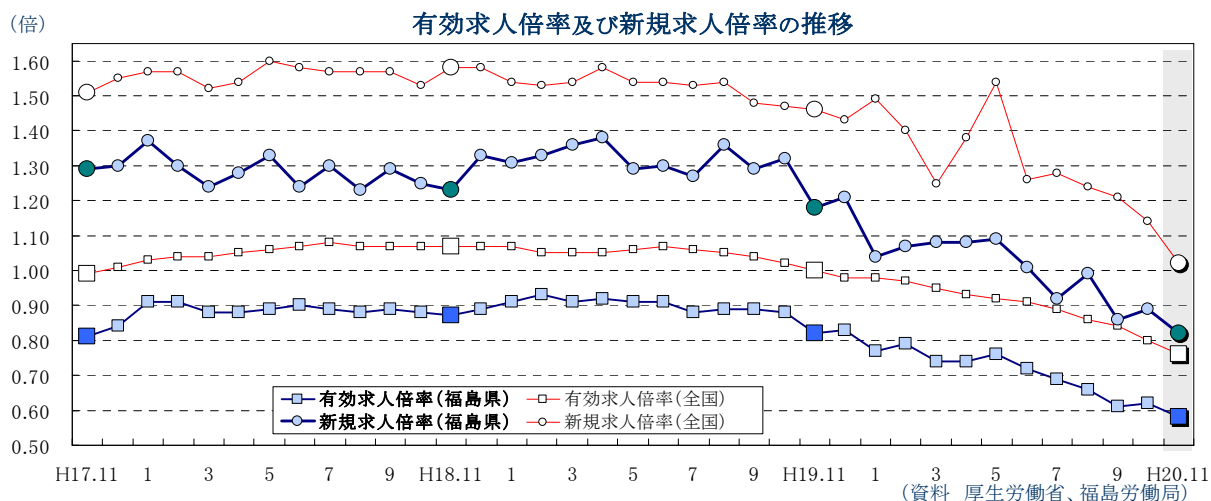
【大口電力使用量】

契約電力500kWh以上の大口の電力需要。産業の生産活動における生産要素の一つであるエネルギー面の投入量を示す指標です。主要産業の経済活動を敏感に反映し、速報性があります。

#### (4) 雇用・労働

◆ 新規求人倍率(11月)は0.82倍(季節調整値)、前月より0.07ポイント低下した。

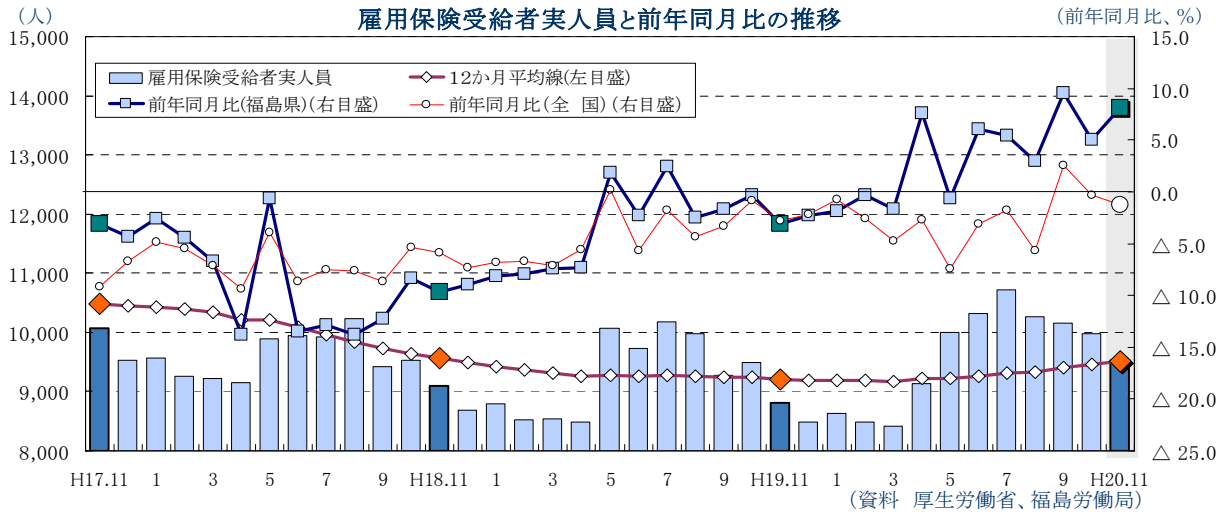
◆ 有効求人倍率(11月)は0.58倍(季節調整値)、前月より0.04ポイント低下した。  
 なお、有効求人数は23,072人(対前年同月比22.5%減)となり、13か月連続で前年を下回った。一方、有効求職者数は36,786人(同10.6%増)となり、14か月連続で前年を上回った。



#### 【新規求人倍率と有効求人倍率】

「新規求人」とは、当月受け付けた求人を指し、前月から未充足のまま繰り越された求人と新規求人を合わせたものを「有効求人」といいます。同様に、「新規求職」は当月受け付けた求職をいい、「有効求職」は前月から繰り越された求職と新規求職の合計です。有効求人倍率が低いと求職者の割には求人数が少なく雇用情勢が悪化しており、反対に倍率が高いと雇用情勢が良いことを示します。雇用情勢の最新の動きをみるには新規求人倍率をみます。なお、求人倍率は、求人数÷求職者数となりますが、通常公表されている求人倍率は季節調整値のため一致しません。

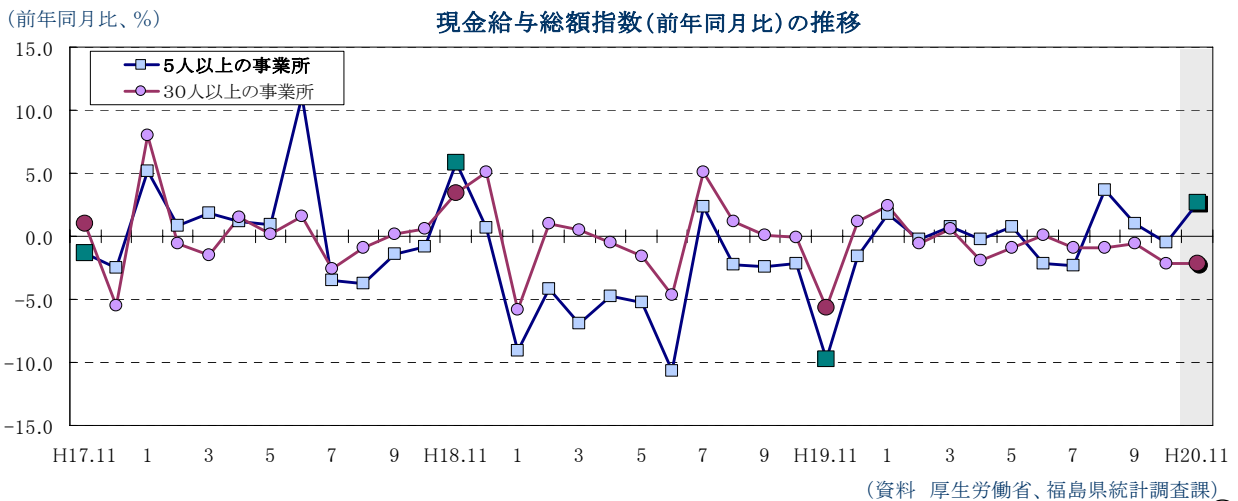
◆ 雇用保険受給者実人員(11月)は9,529人、対前年同月比8.1%増となり、6か月連続で前年を上回った。



### 【雇用保険受給者実人員】

雇用保険の被保険者が離職後、再就職先が見つからないために失業等給付を受け取っている人の数です。失業動向を示すもので、受給者の増加は雇用情勢の悪化を示します。景気の動きと逆に動きます。

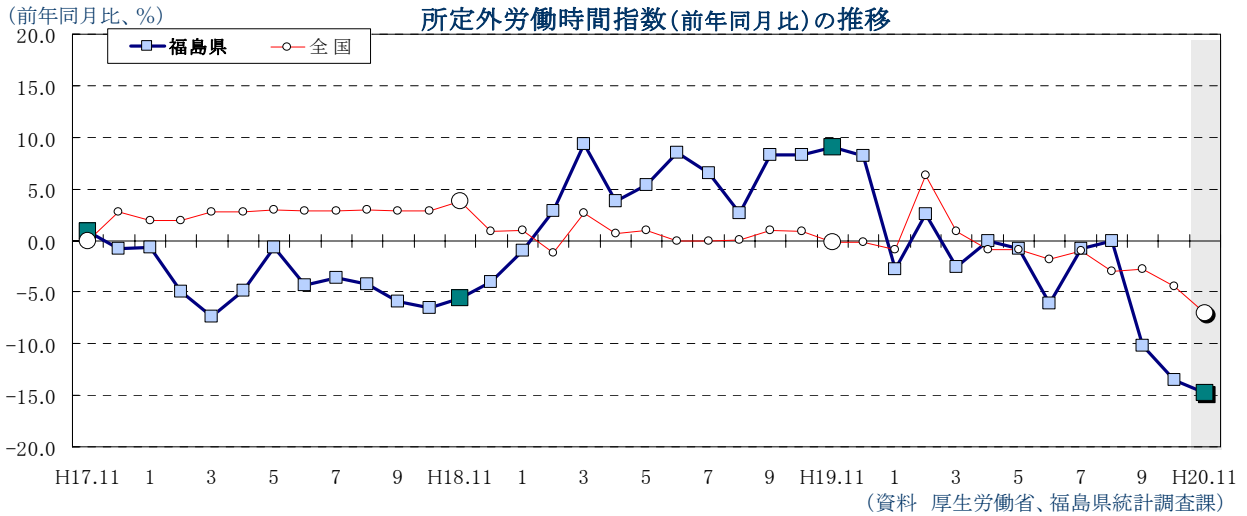
◆ 現金給与総額指数(名目)(11月)は85.7(事業所規模5人以上)、対前年同月比2.6%増となり、2か月振りに前年を上回っている。なお、事業所規模30人以上は83.1、対前年同月比2.4%減となり、5か月連続で前年を下回っている。



### 【現金給与総額指数】

現金給与総額とは、賃金、給与、手当、賞与など労働の対価として使用者が労働者に支払ったものをすべて合計したもので、所得税、社会保険料等を差し引く前の金額です。これを基準年を100として(現在は平成17年=100)指数化したものです。一般に、賞与のある6、7月や12月は指数が高くなる季節性があるため、前年同月比でみる必要があります。

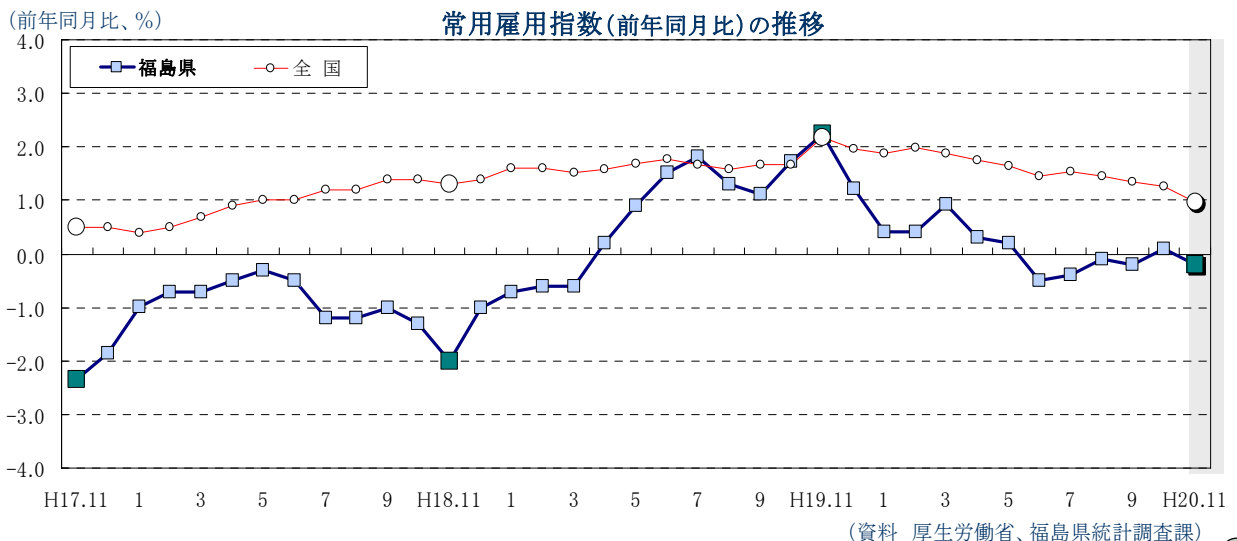
◆ 所定外労働時間指数(11月)は91.2、対前年同月比14.8%減となり、3か月連続で前年を下回っている。



【所定外労働時間指数】

所定外労働時間とは、残業や早出・休日出勤などのことです。これを基準年を100として(現在は平成17年=100)指数化したものです。景気が良くなると、生産活動が活発化し、残業時間の増加に対応することから、景気に敏感に反応します。

◆ 常用雇用指数(11月)は100.2、対前年同月比0.2%減となり、2か月振りに前年を下回っている。

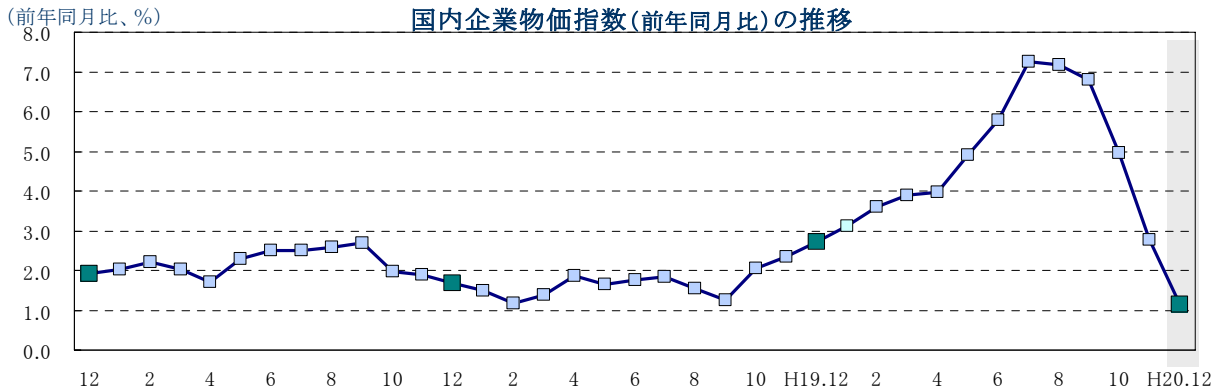


【常用雇用指数】

常用雇用者とは、事業所に雇われている人の数で、一般労働者のほかパートタイム労働者を含みます。これを基準年を100として(現在は平成17年=100)指数化したものです。求人や求職のような希望の数を表すものと違って、実際に雇われている雇用情勢の実態を表します。

## (5) 物価

- ◆ **国内企業物価指数(12月)**は106.6(速報値)、対前年同月比**1.1%増**となり、平成16年3月以降、前年を上回る動きが続いている。なお、対前月比は1.2%減となり、5か月連続で下落している。

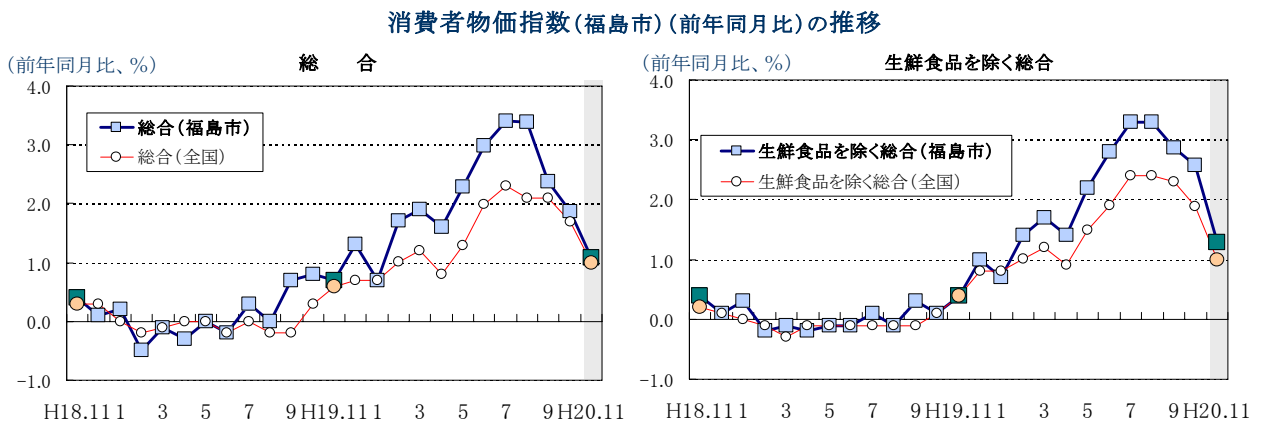


(資料 日本銀行)

### 【国内企業物価指数】

出荷や卸売り段階での企業間の取引価格の動きを示す指標で、景気動向に敏感に反応します。景気が過熱してモノの需給が引き締まると、企業物価は上昇します。逆に不況期には下落します。日本は原材料を多く輸入に依存しているため、海外市況や為替相場に左右されやすい側面もあります。

- ◆ **福島市消費者物価指数(11月)**は102.2、対前年同月比**1.1%増**となり、17か月連続で前年を上回っている。また、生鮮食品を除く総合でみると102.5、対前年同月比**1.3%増**となっている。



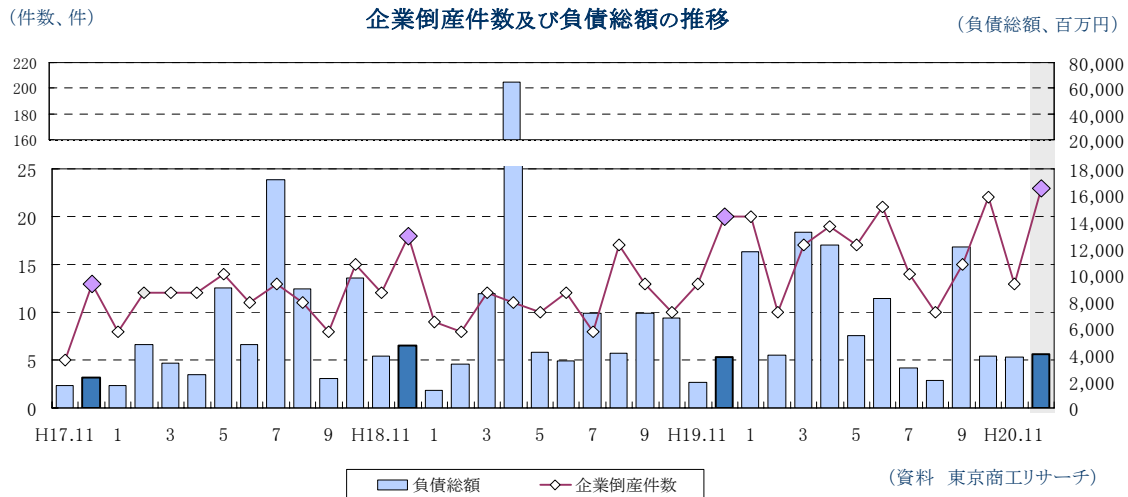
(資料 総務省統計局)

### 【消費者物価指数】

消費者が平均的に購入する商品やサービスを基準年を100と(現在は平成17年=100)固定して、物価がどのように変化しているかを指数化したものです。また、生鮮食品は天候などの要因によって価格が大幅に変動するため、他の商品やサービスの価格動向を見えにくくなるので「生鮮食品を除く総合」でみることもあります。また、税制や社会保障制度の変更や原油等のエネルギー価格の動向が影響を及ぼすことがあります。

## (6) 企業・金融

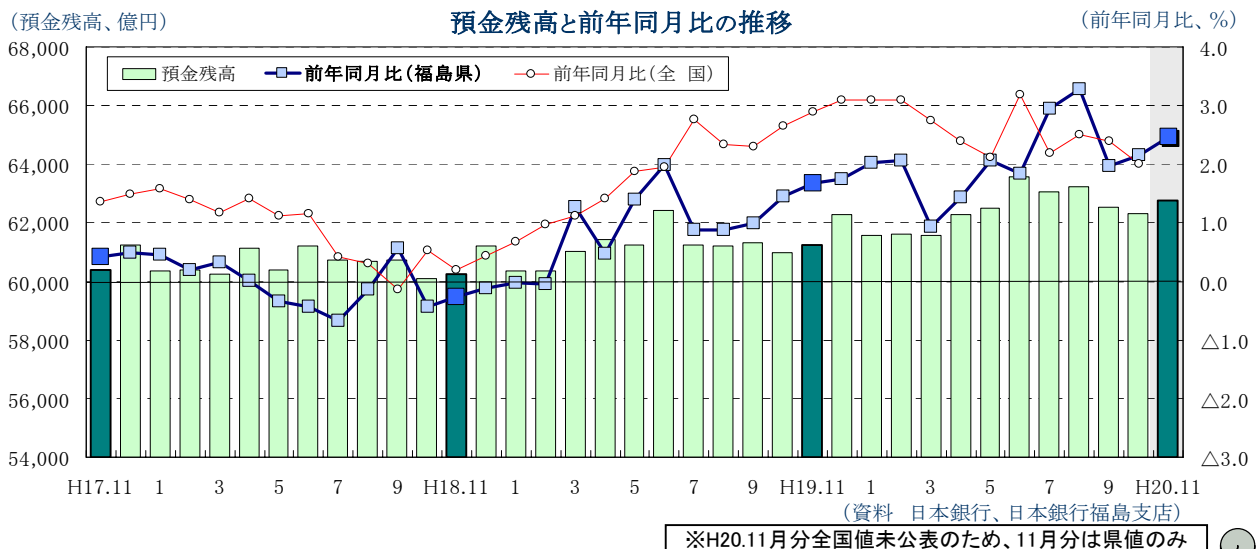
- ◆ **企業倒産(12月)**は、件数が**23件**、対前年同月比で**15.0%増**となり、**2か月振り**に前年を上回っている。また、負債総額は**40億700万円**、対前年同月比で**5.6%増**となり、**2か月連続**で前年を上回っている。  
倒産件数を業種別にみると、建設業が11件と最多となっており、次いでサービス業が5件となっている。



### 【企業倒産】

法的な定義はなく、官庁統計に集計したものではありません。民間信用調査機関ごとに定義を設けて集計しています。「法的整理(破産や会社更生手続、民事再生手続等)」と「任意整理(銀行取引停止処分、内整理)」の大きく2つに分けることができます。

- ◆ **金融機関預金残高(11月)**は総額**6兆2,750億円**、対前年同月比**2.5%増**となり、平成19年3月以降、前年を上回る動きが続いている。

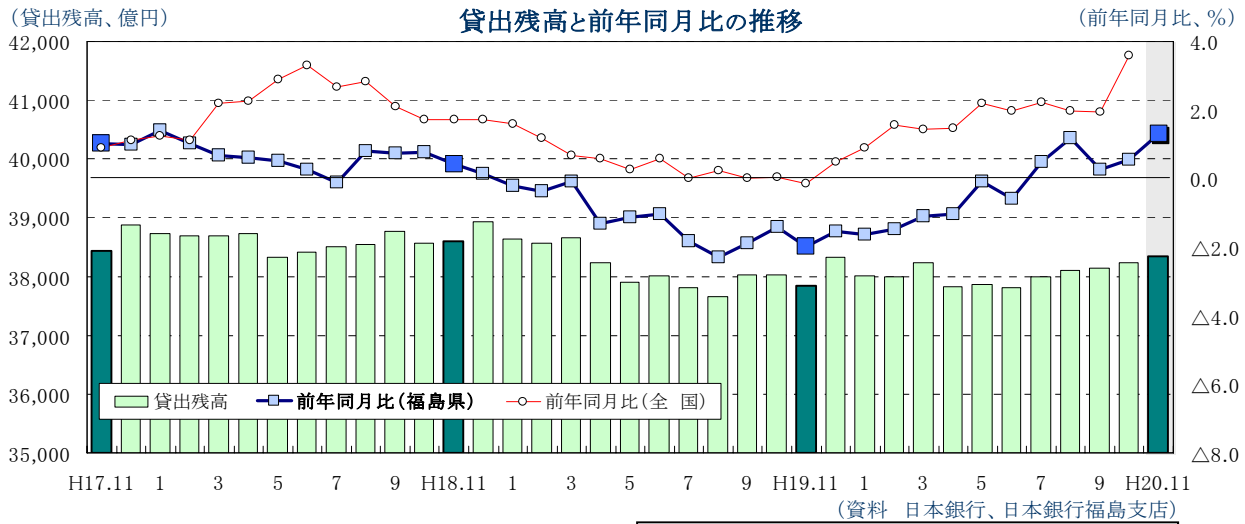


### 【預金残高】

預金残高の増減率は金融機関の信用力を示します。経営破綻が相次いで信用不安が起きれば、預金が流出します。具体的な近年の例としては、法人預金は売上げ低迷による余資の減少や、預貸相殺の動きが続くと減少し、個人預金は収入が落ち込むと減少します。増加する理由には逆のことがいえます。



◆ 金融機関貸出残高(11月)は総額3兆8,335億円、対前年同月比1.3%増となり、5か月連続で前年を上回っている。

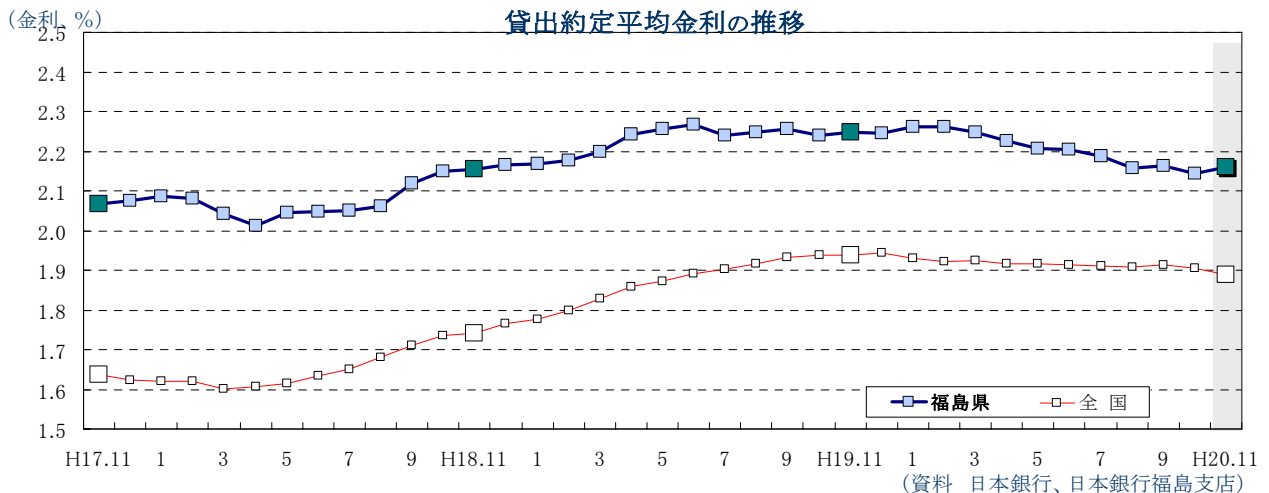


※H20.11月分全国値未公表のため、11月分は県値のみ

**【貸出残高】**

景気拡大期には企業が設備投資を増やし、資金需要が拡大するため貸出残高は増加します。また、銀行の貸出余力が増えれば貸出残高は増加します。具体的な近年の例としては、法人向けは企業が新規借入よりも債務の返済を優先させたり、金融機関が不良債権処理を優先させたりすると、貸出は減少します。個人向けは住宅ローン等が堅調だと増加します。

◆ 貸出約定平均金利(11月)は、2.160%、対前月差0.015ポイント上昇し、2か月振りに前月を上回っている。

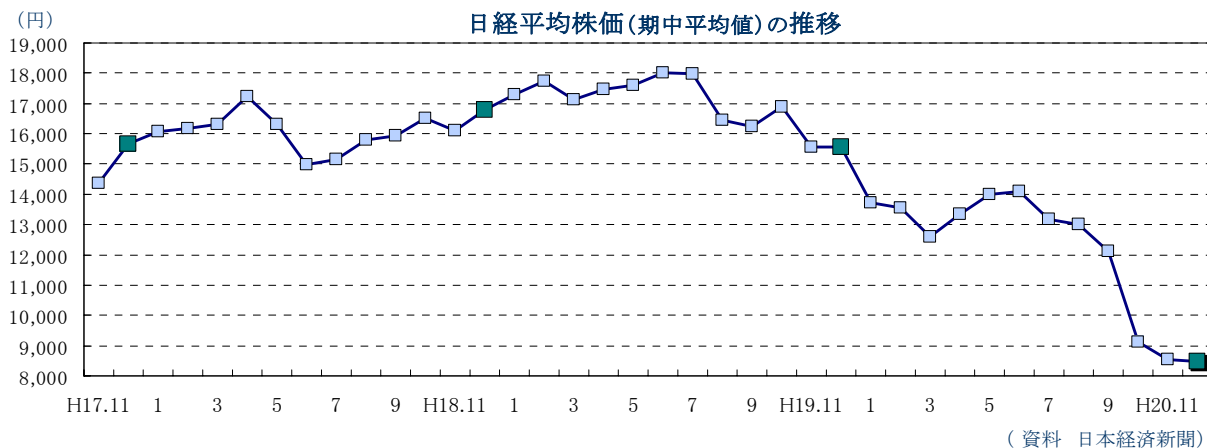


**【貸出約定平均金利】**

金融機関が過去に貸し出しを行った際の貸出金利を現在の貸出残高で加重平均したものです。銀行融資の金利が現実にはどのくらいになっているかを示す指標です。

## (7) 市場

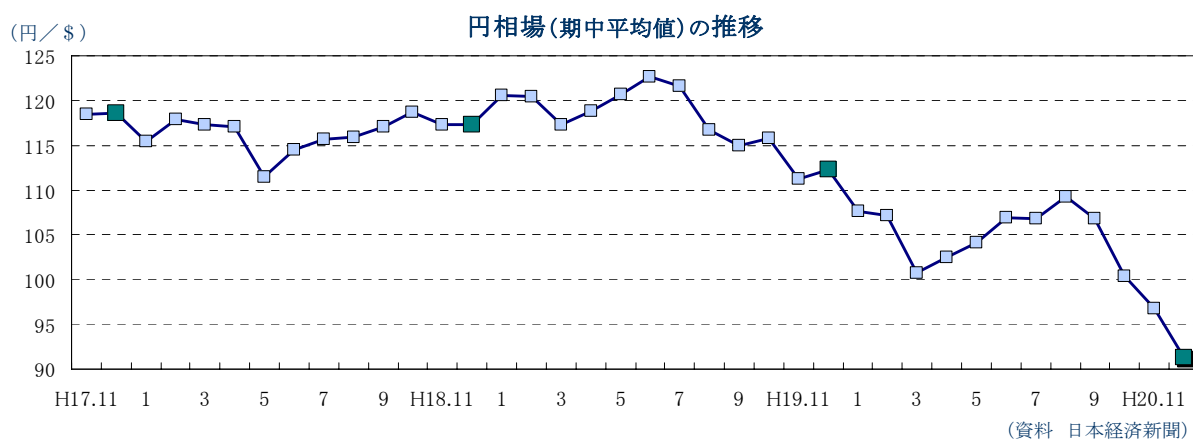
- ◆ 日経平均株価(12月)は8,463円62銭(期中平均値)、前月より67円83銭安  
となっており、6か月連続で前月を下回っている。



### 【日経平均株価】

日本経済新聞社が東京証券取引所第一部に上場している225銘柄(定期的に入れ替え)を対象に平均金額を算出したもので、株式市場全体の株価水準を示す代表的な指標です。株価が上昇すると、企業資産の含み益が増え、企業活動に好影響を与えます。また、株式取引に直接参加していない消費者や経営者にも心理的に大きな影響を与えるため、景気の先行指標といわれます。

- ◆ 円相場(12月)は91円28銭(期中平均値)、前月より5円53銭の円高となっている。

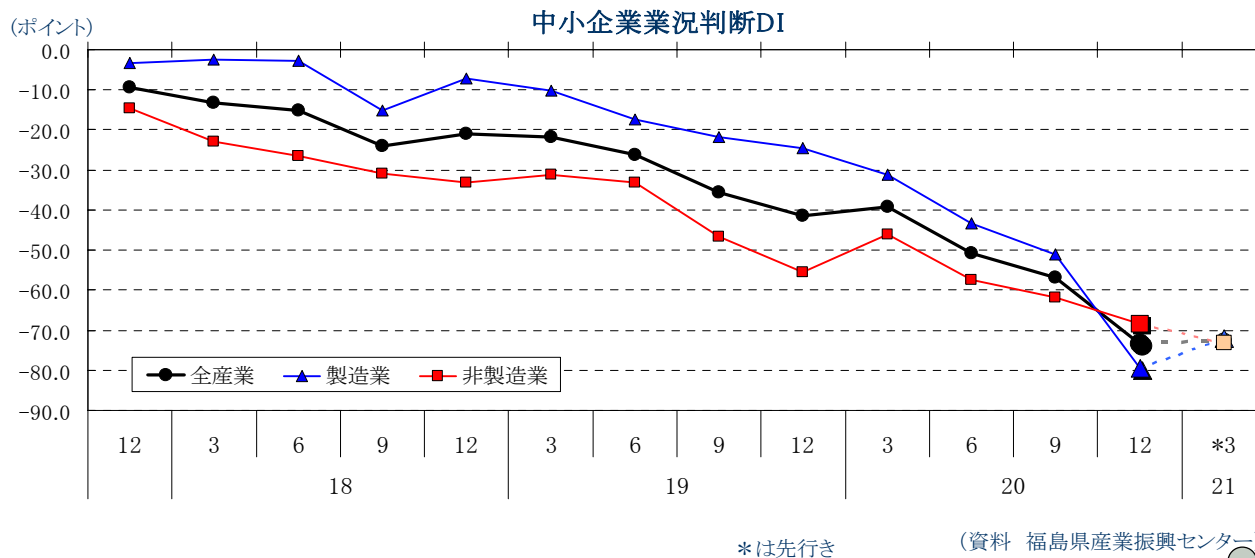


### 【円相場】

円とドルの交換比率(対ドルの為替レート)です。為替レートは商品の値段を決めるときと同様に需給バランスで決まります。その通貨を必要とする人が増えれば値上がりしますし、減れば値下がります。為替レートの変動は、外国貿易を行っている企業に直接的な影響を及ぼし、「円高」では輸出業者が損をして輸入業者が得をします。「円安」の場合は逆になります。また、円高になると輸入品価格が低下し、物価下落の要因となり、一方、輸出価格が上昇し、国際競争力を低下させます。円相場が日本経済全体に与える影響はとて大きいいため、政府・日銀が介入する場合があります。

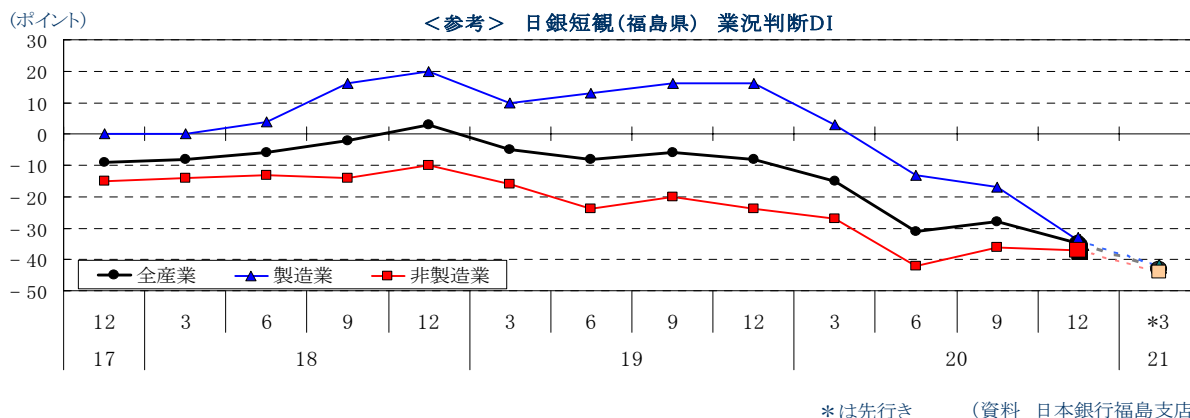
## (8) 中小企業の業況

- ◆ 県内中小企業の業況感を表すDI値はマイナス73.4、前回調査(9月)に比べると16.6ポイント悪化している。産業別にみると、製造業、非製造業ともに悪化している。  
3か月先の見通しは、マイナス72.7となり、横ばいで推移すると予測している。



### 【中小企業業況判断DI】

(財)福島県産業振興センターが四半期ごとに実施しているビジネス・サーベイです。当該業界に対する企業家の景況判断を示したものです。DI(Diffusion Index)値とは、景気の動きをとらえるための指標であり、「良い」と回答した企業の割合から、「悪い」と回答した企業の割合を差し引いた数値です。



### 【参考:日銀短観】

業況等の現状・先行きに関する判断や、事業計画に関する実績・予測など、企業活動全般に関する調査項目について、日本銀行が四半期ごとに実施するビジネス・サーベイです。調査対象は資本金2千万円以上であるため、いわゆる零細企業は対象にならない点に留意する必要があります。また、各支店(例:日銀福島支店)が公表する「支店短観」は、各地域の産業構造を反映するため、全国分の短観が調査・集計対象としていない先(大手企業の出先事務所等)も一部調査・集計対象としています。業況判断DIは業況(「収益を中心とした、業況についての全般的な判断」)が「良い」と回答した企業の割合から「悪い」と回答した企業の割合を差し引いた数値で、企業の収益性と相関があります。

### 3 主要経済指標

区分	個人消費				建設需要						
	1 大型小売店販売額				2 乗用車新規登録台数		3 新設住宅着工戸数		4 公共工事請負金額		
年月	福島県	福島県	全国	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	
	全店舗	既存店	全店舗	既存店	(台)	(千台)	(戸)	(戸)	(百万円)	(億円)	
H17年	226,525	—	213,284	—	76,100	4,748	12,858	1,236,175	236,563	129,622	
18	230,540	—	211,450	—	74,697	4,642	13,076	1,289,832	204,292	122,838	
19	229,959	—	211,938	—	70,420	4,400	11,721	1,060,741	194,223	117,818	
19年Ⅲ	56,401	—	51,219	—	16,211	1,052	2,720	207,808	59,554	31,680	
Ⅳ	60,778	—	57,965	—	15,996	1,006	3,444	248,386	42,090	28,811	
20年Ⅰ	57,719	—	52,041	—	22,913	1,363	2,795	253,924	28,368	26,287	
Ⅱ	56,494	—	50,671	—	15,506	966	2,721	289,663	46,257	28,444	
Ⅲ	56,644	—	50,783	—	16,217	1,036	3,188	291,301	70,027	33,180	
19年4月	18,664	—	16,915	—	4,704	290	1,076	107,255	18,072	11,568	
5	18,959	—	17,041	—	4,838	307	830	97,076	19,361	8,490	
6	18,194	—	17,367	—	5,973	373	1,085	121,149	26,777	10,982	
7	19,090	—	18,613	—	5,190	358	960	81,714	22,365	10,723	
8	19,767	—	16,693	—	4,148	278	868	63,076	17,846	9,842	
9	17,544	—	15,927	—	6,873	416	892	63,018	19,342	11,116	
10	18,458	—	17,161	—	5,331	336	947	76,920	17,864	11,742	
11	18,350	—	18,124	—	6,136	365	1,151	84,252	11,077	8,685	
12	23,970	—	22,675	—	4,529	305	1,346	87,214	13,147	8,384	
20年1月	20,439	—	18,799	—	5,508	320	1,000	86,971	5,975	5,907	
2	17,334	—	15,539	—	6,949	429	913	82,962	6,887	6,535	
3	19,946	—	17,703	—	10,456	614	882	83,991	15,506	13,845	
4	18,832	—	16,812	—	5,102	306	825	97,930	18,680	11,025	
5	19,184	—	16,951	—	4,640	296	896	90,804	9,893	7,675	
6	18,479	—	16,908	—	5,764	364	1,000	100,929	17,684	9,743	
7	19,512	—	18,661	—	5,843	383	1,034	97,212	24,155	12,202	
8	19,670	—	16,531	—	3,972	255	692	96,905	24,773	9,253	
9	17,462	—	15,591	—	6,402	397	1,462	97,184	21,099	11,724	
10	18,569	—	16,668	—	5,162	315	1,048	92,123	18,016	11,697	
11	19,252	—	1,780,485	—	5,016	296	946	84,277	14,908	8,443	
12	—	—	—	—	4,001	253	—	—	18,309	7,850	

	対前年同月(期)比(%)																			
H17年	△	3.9	△	3.7	△	0.6	△	2.3	△	0.1	△	0.4	△	4.6	△	4.0	△	1.1	△	5.6
18	△	1.8	△	2.6	△	0.9	△	1.2	△	1.8	△	2.2	△	1.7	△	4.3	△	13.6	△	5.2
19	△	0.1	△	1.1	△	0.3	△	1.0	△	5.7	△	5.2	△	10.4	△	17.8	△	—	△	—
19年Ⅲ	△	1.8	△	1.0	△	0.4	△	2.0	△	7.5	△	5.9	△	14.1	△	37.1	△	10.8	△	7.3
Ⅳ	△	0.9	△	1.4	△	0.4	△	1.0	△	4.1	△	1.9	△	3.0	△	27.3	△	1.2	△	2.9
20年Ⅰ	△	0.9	△	0.3	△	1.1	△	0.3	△	0.9	△	0.7	△	8.9	△	9.0	△	3.5	△	5.2
Ⅱ	△	1.2	△	1.9	△	1.3	△	2.7	△	0.1	△	0.5	△	9.0	△	11.0	△	28.0	△	8.4
Ⅲ	△	0.4	△	1.4	△	0.9	△	2.0	△	0.0	△	1.5	△	17.2	△	40.2	△	17.6	△	4.7
19年4月	△	0.6	△	1.7	△	0.8	△	1.8	△	4.8	△	7.3	△	23.6	△	3.6	△	15.8	△	1.5
5	△	0.8	△	0.3	△	0.3	△	0.8	△	0.2	△	4.8	△	29.1	△	10.7	△	1.5	△	0.4
6	△	1.4	△	0.9	△	1.9	△	0.9	△	6.4	△	8.0	△	12.1	△	6.0	△	1.5	△	2.9
7	△	4.0	△	2.6	△	2.5	△	3.8	△	16.3	△	9.7	△	11.4	△	23.4	△	1.6	△	4.0
8	△	0.1	△	0.8	△	1.7	△	0.1	△	5.4	△	2.1	△	22.5	△	43.3	△	8.1	△	5.1
9	△	1.6	△	1.1	△	0.2	△	2.0	△	1.0	△	5.0	△	7.5	△	44.0	△	23.7	△	12.1
10	△	1.1	△	1.7	△	0.1	△	1.7	△	5.6	△	1.1	△	10.7	△	35.0	△	3.3	△	3.2
11	△	1.2	△	1.7	△	1.9	△	0.4	△	1.6	△	0.6	△	4.5	△	27.0	△	15.2	△	4.3
12	△	0.4	△	1.0	△	0.4	△	1.5	△	9.1	△	7.7	△	25.0	△	19.2	△	18.8	△	1.1
20年1月	△	2.1	△	2.6	△	0.8	△	2.0	△	3.9	△	3.8	△	9.8	△	5.7	△	31.1	△	3.5
2	△	2.5	△	0.7	△	2.7	△	1.2	△	4.9	△	1.0	△	25.8	△	5.0	△	5.6	△	13.1
3	△	2.6	△	1.2	△	1.8	△	0.2	△	2.9	△	4.0	△	5.1	△	15.6	△	26.8	△	12.6
4	△	0.9	△	2.4	△	0.6	△	2.2	△	8.5	△	5.4	△	23.3	△	8.7	△	3.4	△	4.7
5	△	1.2	△	1.8	△	0.5	△	2.0	△	4.1	△	3.6	△	8.0	△	6.5	△	48.9	△	9.6
6	△	1.6	△	1.4	△	2.6	△	4.0	△	3.5	△	2.5	△	7.8	△	16.7	△	34.0	△	11.3
7	△	2.2	△	0.1	△	0.3	△	0.7	△	12.6	△	7.1	△	7.7	△	19.0	△	8.0	△	13.8
8	△	0.5	△	2.6	△	1.0	△	2.2	△	4.2	△	8.0	△	20.3	△	53.6	△	38.8	△	6.0
9	△	0.5	△	1.4	△	2.1	△	3.3	△	6.9	△	4.5	△	63.9	△	54.2	△	9.1	△	5.5
10	△	0.6	△	1.5	△	2.9	△	4.3	△	3.2	△	6.3	△	10.7	△	19.8	△	0.9	△	0.4
11	△	4.9	△	2.9	△	1.8	△	3.1	△	18.3	△	18.9	△	17.8	△	0.0	△	34.6	△	2.8
12	△	—	△	—	△	—	△	—	△	11.7	△	17.3	△	—	△	—	△	39.3	△	6.4
備考	百貨店とスーパーの計				乗用車、軽自動車の計				持家、貸家、給与住宅、分譲住宅の計				年表示は、年度ベースの機関と地方の機関の計							
資料	「商業動態統計調査」				「新車登録台数実績表」				「月刊住宅着工統計」				「公共工事前払金保証統計」							
出所	経済産業省、東北経済産業局				自動車販売店協会、軽自動車協会				国土交通省				東日本建設保証株式会社							

区分 年月	建設需要		生産活動											
	5業務用建築物着工棟数		6 鉱工業生産指数				7 鉱工業出荷指数				8 鉱工業在庫指数			
	福島県	全国	福島県 原指数	全国 原指数	福島県 季調値	全国 季調値	福島県 原指数	全国 原指数	福島県 季調値	全国 季調値	福島県 原指数	全国 原指数	福島県 季調値	全国 季調値
	(棟)	(棟)												
H17年	2,759	114,212	100.0	100.0	-	-	100.0	100.0	-	-	100.0	100.0	-	-
18	2,676	114,861	102.3	104.5	-	-	103.6	104.6	-	-	100.8	102.1	-	-
19	2,208	98,076	105.8	107.4	-	-	109.4	107.8	-	-	105.0	103.9	-	-
19年Ⅲ	488	27,055	106.3	106.9	106.5	108.2	111.5	107.5	110.7	108.4	106.4	103.7	105.7	103.8
Ⅳ	545	22,938	111.5	112.1	107.6	109.2	116.0	112.4	112.2	109.9	105.0	106.0	107.3	105.4
20年Ⅰ	505	21,880	105.9	108.9	106.8	108.4	111.1	111.1	112.8	109.4	115.3	105.6	113.1	105.4
Ⅱ	452	23,173	104.1	105.2	107.6	107.5	111.3	104.8	115.0	108.4	112.2	104.3	112.5	104.9
Ⅲ	592	24,660	104.2	105.4	103.7	106.1	111.6	106.0	110.1	106.4	118.3	106.2	117.7	106.3
19年4月	194	9,035	101.8	102.4	105.3	105.6	103.8	101.3	107.3	106.3	103.9	100.7	105.8	103.2
5	195	9,094	98.3	101.3	104.7	106.8	100.4	100.0	107.8	107.2	102.2	103.4	100.9	103.2
6	264	12,152	106.5	108.9	106.8	106.9	109.9	109.4	109.2	107.6	105.0	103.4	105.0	103.1
7	218	8,347	109.5	108.1	106.4	107.0	113.2	107.2	110.3	106.8	107.7	104.9	104.6	103.6
8	136	5,801	101.0	102.9	106.3	109.7	107.4	103.3	110.8	110.1	104.8	104.7	105.2	103.7
9	134	5,963	108.4	109.6	106.7	107.9	113.8	111.9	111.0	108.4	106.6	101.6	107.4	104.2
10	182	6,944	115.9	113.4	110.0	110.0	117.6	111.6	112.6	110.1	104.8	105.5	107.2	104.9
11	165	8,055	113.6	113.1	106.4	108.4	117.5	112.5	112.0	109.1	104.1	108.4	106.4	105.8
12	198	7,939	104.9	109.7	106.3	109.1	112.8	113.0	112.1	110.6	106.1	104.0	108.2	105.5
20年1月	157	7,196	99.2	101.4	107.3	108.5	102.0	102.0	112.8	110.0	114.0	107.6	112.3	105.3
2	184	7,551	105.0	108.9	108.0	110.2	110.2	109.4	113.4	111.3	114.5	108.5	110.8	105.4
3	164	7,133	113.5	116.5	105.2	106.5	121.2	121.9	112.1	107.0	117.4	100.7	116.1	105.5
4	152	7,447	104.8	104.3	107.0	106.3	110.8	104.1	112.3	108.0	116.4	101.7	119.1	104.2
5	123	7,466	99.8	102.4	107.7	109.3	108.0	101.7	118.2	110.2	108.9	104.9	107.1	104.7
6	177	8,260	107.7	108.9	108.0	106.9	115.1	108.7	114.4	106.9	111.2	106.2	111.2	105.9
7	213	8,095	111.3	110.7	106.7	108.3	114.8	110.5	109.7	108.9	120.6	107.2	117.7	105.8
8	147	8,450	94.3	95.8	101.9	104.5	105.6	96.3	113.4	104.9	117.0	106.5	116.4	105.5
9	232	8,115	106.9	109.8	102.6	105.6	114.4	111.2	107.3	105.3	117.2	104.9	119.1	107.6
10	207	7,950	105.3	105.4	99.9	102.3	107.7	103.4	103.1	102.1	128.8	110.1	131.8	109.5
11	216	7,789	95.3	94.3	93.3	93.6	100.8	93.4	101.5	93.5	129.0	113.1	130.3	110.4
12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	対前年同月(期)比(%)				対前月(期)比				対前年同月(期)比(%)				対前月(期)比			
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
H17年	5.9	2.2	1.3	1.3	-	-	2.9	1.4	-	-	5.3	3.1	-	-	-	-
18	△ 3.0	△ 0.6	2.3	4.5	-	-	3.6	4.6	-	-	0.8	2.1	-	-	-	-
19	△ 17.5	△ 14.6	3.4	2.8	-	-	5.6	3.1	-	-	4.2	1.8	-	-	-	-
19年Ⅲ	△ 32.0	△ 12.6	4.0	2.6	0.9	1.7	6.6	2.8	2.4	1.3	4.7	2.1	1.7	0.6	-	-
Ⅳ	△ 20.9	△ 21.3	3.0	3.3	1.0	0.9	6.6	4.4	1.4	1.4	5.3	1.9	1.5	1.5	-	-
20年Ⅰ	△ 3.3	△ 11.6	2.7	2.3	△ 0.7	△ 0.7	5.3	3.1	0.5	△ 0.5	10.0	2.1	5.4	0.0	-	-
Ⅱ	△ 30.8	△ 23.5	1.9	1.0	0.7	△ 0.8	6.3	1.2	2.0	△ 0.9	8.2	1.8	△ 0.5	△ 0.5	-	-
Ⅲ	21.3	△ 8.9	△ 2.0	△ 1.4	△ 3.6	△ 1.3	0.1	△ 1.4	△ 4.3	△ 1.8	11.2	2.4	4.6	1.3	-	-
19年4月	△ 26.2	△ 3.5	1.8	1.0	1.5	△ 0.4	3.0	1.0	△ 0.6	0.5	5.1	1.0	1.3	△ 0.1	-	-
5	△ 15.6	△ 5.1	5.5	4.8	△ 0.6	1.1	6.5	4.4	0.5	0.8	0.0	1.5	△ 4.6	0.0	-	-
6	△ 3.3	13.0	3.3	1.3	2.0	0.1	3.8	2.1	1.3	0.4	6.0	1.0	4.1	△ 0.1	-	-
7	△ 9.5	△ 20.1	9.6	3.1	△ 0.4	0.1	12.1	2.9	1.0	△ 0.7	3.3	1.8	△ 0.4	0.5	-	-
8	△ 47.1	△ 43.8	2.6	4.6	△ 0.1	2.5	5.6	4.7	0.5	3.1	3.8	2.1	0.6	0.1	-	-
9	△ 39.1	△ 41.6	0.1	0.2	0.4	△ 1.6	2.3	1.0	0.2	△ 1.5	7.0	2.4	2.1	0.5	-	-
10	△ 36.8	△ 29.9	6.3	5.3	3.1	1.9	9.4	6.3	1.4	1.6	4.2	1.8	△ 0.2	0.7	-	-
11	△ 17.9	△ 17.8	3.4	3.2	△ 3.3	△ 1.5	7.3	3.5	△ 0.5	△ 0.9	3.9	2.7	△ 0.7	0.9	-	-
12	△ 1.0	△ 15.8	△ 0.8	1.5	△ 0.1	0.6	3.2	3.3	0.1	1.4	7.9	1.3	1.7	△ 0.3	-	-
20年1月	△ 4.3	△ 10.7	5.6	2.9	0.9	△ 0.5	8.6	3.9	0.6	△ 0.5	9.8	1.9	3.8	△ 0.2	-	-
2	△ 14.3	△ 8.4	2.9	5.1	0.7	1.6	6.2	5.8	0.5	1.2	8.4	2.3	△ 1.3	0.1	-	-
3	△ 16.8	△ 15.5	0.2	△ 0.7	△ 2.6	△ 3.4	1.9	0.1	△ 1.1	△ 3.9	11.7	2.1	4.8	0.1	-	-
4	△ 21.6	△ 17.6	2.9	1.9	1.7	△ 0.2	6.7	2.8	0.2	0.9	12.0	1.0	2.6	△ 1.2	-	-
5	△ 36.9	△ 17.9	1.5	1.1	0.7	2.8	7.6	1.7	5.3	2.0	6.6	1.5	△ 10.1	0.5	-	-
6	△ 33.0	△ 32.0	1.1	0.0	0.3	△ 2.2	4.7	△ 0.6	△ 3.2	△ 3.0	5.9	2.7	3.8	1.1	-	-
7	△ 2.3	△ 3.0	1.6	2.4	△ 1.2	1.3	1.4	3.1	△ 4.1	1.9	12.0	2.2	5.8	△ 0.1	-	-
8	8.1	45.7	△ 6.6	△ 6.9	△ 4.5	△ 3.5	△ 1.7	△ 6.8	3.4	△ 3.7	11.6	1.7	△ 1.1	△ 0.3	-	-
9	73.1	36.1	△ 1.4	0.2	0.7	1.1	0.5	△ 0.6	△ 5.4	0.4	9.9	3.2	2.3	2.0	-	-
10	13.7	14.5	△ 9.1	△ 7.1	△ 2.6	△ 3.1	△ 8.4	△ 7.3	△ 3.9	△ 3.0	22.9	4.4	10.7	1.8	-	-
11	30.9	△ 3.3	△ 16.1	△ 16.6	△ 6.6	△ 8.5	△ 14.2	△ 17.0	△ 1.6	△ 8.4	23.9	4.3	△ 1.1	0.8	-	-
12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
備考	全建築物から居住専用住宅、居住産業併用住宅を除いたもの		平成17年=100				平成17年=100				平成17年=100					
資料出所	「建築統計月報」国土交通省		「鉱工業指数月報」福島県経済産業省													

区分	生産活動		雇用・労働							
	9 大口電力使用量		10 新規求人倍率		11 有効求人倍率		12 有効求人人数		13 有効求職者数	
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
	(千kWh)	(百万kWh)	(倍)	(倍)	(倍)	(倍)	(人)	(千人)	(人)	(千人)
H17年	5,813,450	271,784	1.21	1.46	0.80	0.95	29,718	2,163	37,072	2,272
18	6,279,060	283,663	1.28	1.57	0.89	1.06	31,063	2,295	34,924	2,164
19	6,702,016	296,027	1.30	1.52	0.89	1.04	30,607	2,180	34,445	2,094
19年Ⅲ	1,732,717	77,543	1.31	1.52	0.89	1.05	30,484	2,139	34,608	2,067
Ⅳ	1,735,917	75,207	1.24	1.45	0.84	1.00	29,841	2,090	32,891	1,976
20年Ⅰ	1,749,947	73,644	1.06	1.38	0.77	0.97	27,350	2,012	34,190	2,006
Ⅱ	1,782,399	75,097	1.06	1.39	0.74	0.92	25,484	1,862	38,089	2,179
Ⅲ	1,876,650	79,356	0.92	1.24	0.65	0.86	24,525	1,772	37,573	2,080
19年4月	537,986	23,570	1.38	1.58	0.92	1.05	31,543	2,284	36,831	2,292
5	528,293	23,876	1.29	1.54	0.91	1.06	30,020	2,180	37,414	2,264
6	564,410	25,424	1.30	1.54	0.91	1.07	29,112	2,119	36,322	2,176
7	589,365	25,838	1.27	1.53	0.88	1.06	29,027	2,119	35,425	2,115
8	563,853	25,738	1.36	1.54	0.89	1.05	30,430	2,143	34,497	2,063
9	579,499	25,967	1.29	1.48	0.89	1.04	31,994	2,154	33,903	2,024
10	579,567	25,710	1.32	1.47	0.88	1.02	33,132	2,213	34,327	2,073
11	571,312	24,724	1.18	1.46	0.82	1.00	29,773	2,114	33,248	1,986
12	585,038	24,773	1.21	1.43	0.83	0.98	26,619	1,944	31,098	1,871
20年1月	575,201	23,953	1.04	1.49	0.77	0.98	25,961	1,956	32,541	1,948
2	585,974	24,497	1.07	1.40	0.79	0.97	27,566	2,028	33,607	1,997
3	588,772	25,194	1.08	1.25	0.74	0.95	28,523	2,051	36,423	2,072
4	593,381	24,338	1.08	1.38	0.74	0.93	26,959	1,956	38,541	2,204
5	581,751	24,781	1.09	1.54	0.76	0.92	25,196	1,840	37,874	2,187
6	607,267	25,977	1.01	1.26	0.72	0.91	24,296	1,790	37,853	2,146
7	657,869	27,511	0.92	1.28	0.69	0.89	24,621	1,783	38,360	2,114
8	595,959	25,730	0.99	1.24	0.66	0.86	24,122	1,740	36,747	2,045
9	622,822	26,115	0.86	1.21	0.61	0.84	24,831	1,794	37,611	2,083
10	596,385	25,581	0.89	1.14	0.62	0.80	25,172	1,796	37,621	2,142
11	558,103	23,437	0.82	1.02	0.58	0.76	23,072	1,676	36,786	2,080
12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区分	対前年同月(期)比(%)		対前月(期)(ポイント)				対前年同月(期)比(%)											
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国								
H17年	3.2	1.3	0.06	0.17	0.03	0.12	2.3	10.6	△	2.1	△	4.1						
18	8.0	4.4	0.07	0.11	0.09	0.11	4.5	6.1	△	5.8	△	4.7						
19	6.7	4.4	0.02	0.05	0.00	0.02	1.5	5.0	△	1.4	△	3.2						
19年Ⅲ	6.9	4.5	△	0.01	△	0.03	△	0.02	△	0.01	△	5.8	△	0.4	△	3.5		
Ⅳ	6.7	3.2	△	0.07	△	0.07	△	0.05	△	0.05	△	4.9	△	8.7	△	2.5		
20年Ⅰ	9.2	4.6	△	0.18	△	0.07	△	0.07	△	0.03	△	14.2	△	12.4	△	2.3	△	4.0
Ⅱ	9.3	3.1	△	0.00	△	0.01	△	0.03	△	0.05	△	15.7	△	15.2	△	3.3	△	2.9
Ⅲ	8.3	2.3	△	0.14	△	0.15	△	0.09	△	0.06	△	19.5	△	17.1	△	8.6	△	0.6
19年4月	4.8	4.6	0.02	0.04	0.01	0.00	1.2	△	4.1	△	3.9	△	4.3					
5	8.0	5.1	△	0.09	△	0.04	△	0.01	0.01	0.3	△	3.0	△	1.8	△	3.0		
6	5.8	4.1	0.01	0.00	0.00	0.01	0.7	△	4.3	△	2.2	△	3.8					
7	6.3	3.0	△	0.03	△	0.01	△	0.03	△	0.01	△	1.6	△	4.0	△	0.0	△	2.5
8	6.3	4.8	0.09	0.01	0.01	0.01	1.0	△	5.4	△	0.3	△	3.4					
9	8.0	5.8	△	0.07	△	0.06	0.00	0.01	△	1.9	△	8.0	△	0.9	△	4.5		
10	6.9	4.0	0.03	0.01	△	0.01	△	0.02	0.8	△	6.6	0.1	△	2.4				
11	5.9	2.8	△	0.14	△	0.01	△	0.06	△	0.02	△	7.3	△	9.0	0.1	△	2.4	
12	7.5	2.8	0.03	0.03	0.01	0.02	8.6	△	10.6	0.1	△	2.7						
20年1月	9.2	3.8	△	0.17	△	0.06	△	0.06	0.00	△	15.3	△	11.4	0.2	△	3.4		
2	14.2	8.0	0.03	0.09	0.02	0.01	△	12.5	△	11.0	2.9	△	3.1					
3	4.6	2.2	0.01	0.15	△	0.05	△	0.02	△	14.8	△	14.6	3.7	△	5.4			
4	10.3	3.3	0.00	0.13	0.00	0.02	△	0.02	△	14.5	△	14.4	4.6	△	3.8			
5	10.1	3.8	0.01	0.16	0.02	0.01	△	0.01	△	16.1	△	15.6	1.2	△	3.4			
6	7.6	2.2	△	0.08	△	0.28	△	0.04	△	0.01	△	16.5	△	15.5	4.2	△	1.4	
7	11.6	6.5	△	0.09	0.02	0.03	△	0.02	△	15.2	△	15.9	8.3	△	0.1			
8	5.7	△	0.07	0.04	0.03	0.03	20.7	△	18.8	6.5	△	0.9						
9	7.5	0.6	△	0.13	△	0.03	△	0.02	△	22.4	△	16.7	10.9	△	2.9			
10	2.9	△	0.03	0.07	0.01	0.04	24.0	△	18.8	9.6	△	3.3						
11	△	2.3	△	0.07	△	0.12	△	0.04	△	22.5	△	20.7	10.6	△	4.8			
12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
備考	県は東北電力、国は電力10社計		学卒を除きパートを含む。															
	四半期値は、月平均値		新規、有効求人倍率の年値は原数値、各月の値は季節調整値 四半期値は各期ごとの平均															
資料	東北電力株式会社福島支店		「雇用失業情勢」															
出所	電気事業連合会		福島労働局職業安定部															

区分	雇用・労働										物価
	14 雇用保険受給者実人員		15 現金給与総額 指数(名目)		16 所定外労働時間指数		17 常用雇用指数		18 パートタイム 労働者比率		19 国内企業 物価指数
年月	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	全国
	(人)	(千人)							(%)	(%)	
H17年	10,455	637	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	15.7	25.3	100.0
18	9,494	593	101.7	100.2	95.6	102.6	99.1	101.0	16.0	25.5	102.2
19	9,196	570	96.9	99.5	101.3	103.4	99.9	102.8	19.4	26.1	104.0
19年Ⅲ	9,810	616	92.0	95.0	98.5	101.0	100.4	103.3	19.1	26.2	104.6
Ⅳ	8,931	566	112.0	116.9	106.1	106.3	100.3	103.7	19.6	26.3	105.1
20年Ⅰ	8,509	520	83.3	84.8	99.1	104.1	99.1	103.2	19.6	26.1	106.2
Ⅱ	9,815	540	99.9	103.3	98.3	101.6	100.4	104.5	19.7	25.8	108.8
Ⅲ	10,386	605	92.5	95.2	94.7	98.7	100.2	104.8	18.7	26.2	112.0
19年4月	8,485	514	84.4	84.3	101.8	107.5	99.9	102.4	19.3	25.8	103.5
5	10,065	596	81.2	83.0	98.2	100.0	100.3	102.8	19.5	25.8	103.8
6	9,723	586	136.7	140.5	101.8	100.9	100.9	103.2	19.8	26.0	103.9
7	10,175	619	109.5	116.8	98.2	101.9	100.8	103.3	18.8	26.1	104.6
8	9,983	637	85.5	85.8	94.7	99.1	100.3	103.2	19.3	26.2	104.6
9	9,271	591	81.1	82.3	102.6	101.9	100.1	103.3	19.2	26.2	104.5
10	9,497	599	82.5	83.0	103.5	104.7	100.1	103.4	19.7	26.3	104.8
11	8,815	564	83.5	87.6	107.0	106.6	100.4	103.8	19.4	26.4	105.0
12	8,482	535	170.1	180.2	107.9	107.5	100.3	103.8	19.7	26.3	105.4
20年1月	8,627	542	83.1	85.1	92.1	99.1	99.3	103.4	19.6	26.2	105.7
2	8,494	518	82.2	82.9	102.6	104.7	99.0	103.3	19.8	26.0	106.2
3	8,406	499	84.5	86.3	102.6	108.5	99.0	102.9	19.3	26.0	106.7
4	9,132	500	84.2	85.0	101.8	106.6	100.2	104.2	19.2	25.6	107.6
5	9,998	552	81.8	83.7	97.4	99.1	100.5	104.5	19.7	25.8	108.9
6	10,315	568	133.7	141.1	95.6	99.1	100.4	104.7	20.2	26.0	109.9
7	10,724	608	106.9	117.1	97.4	100.9	100.4	104.9	18.7	26.1	112.2
8	10,276	601	88.6	85.9	94.7	96.2	100.2	104.7	18.2	26.1	112.1
9	10,157	606	81.9	82.5	92.1	99.1	99.9	104.7	19.1	26.3	111.6
10	9,971	597	82.1	83.1	89.5	100.0	100.2	104.7	19.0	26.3	110.0
11	9,529	557	85.7	87.0	91.2	99.1	100.2	104.8	19.3	26.4	107.9
12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	P 106.6

	対前年同月(期)比(%)										対前月(期)(ポイント)		対前年同月(期)比(%)
	△		△		△		△		△		△		
H17年	△ 10.4	△ 10.2	△ 0.1	0.6	△ 1.1	1.1	△ 2.6	0.5	△ 1.3	0.0		1.6	
18	△ 9.2	△ 6.8	△ 1.7	0.3	△ 4.4	2.6	△ 1.0	1.0	△ 3.4	0.1		2.2	
19	△ 3.1	△ 3.9	△ 4.7	0.7	△ 6.0	0.8	△ 0.8	1.8	△ 3.4	0.6		1.8	
19年Ⅲ	△ 0.6	△ 3.1	△ 0.5	0.6	△ 5.9	0.4	△ 1.4	1.7	△ 0.4	0.3		1.6	
Ⅳ	△ 1.9	△ 1.9	△ 3.9	0.9	△ 8.5	0.2	△ 1.7	2.0	△ 0.5	0.2		2.4	
20年Ⅰ	△ 1.3	△ 2.7	△ 0.7	1.6	△ 0.9	2.1	△ 0.6	1.9	△ 0.0	0.3		3.5	
Ⅱ	△ 4.1	△ 4.5	△ 0.9	0.7	△ 2.3	1.2	△ 0.0	1.7	△ 1.0	0.3		4.9	
Ⅲ	△ 5.9	△ 1.7	△ 0.5	0.2	△ 3.9	2.3	△ 0.2	1.5	△ 2.1	0.4		7.1	
19年4月	△ 7.3	△ 5.5	△ 4.7	0.2	△ 3.8	0.7	△ 0.2	1.6	△ 0.1	0.3		1.9	
5	△ 1.9	△ 0.2	△ 5.3	0.2	△ 5.4	1.0	△ 0.9	1.7	△ 0.2	0.0		1.7	
6	△ 2.2	△ 5.6	△ 10.7	0.9	△ 8.5	0.0	△ 1.5	1.8	△ 0.3	0.2		1.8	
7	△ 2.5	△ 1.7	△ 2.3	1.7	△ 6.5	0.1	△ 1.8	1.7	△ 1.0	0.1		1.9	
8	△ 2.5	△ 4.4	△ 2.3	0.6	△ 2.7	0.1	△ 1.3	1.6	△ 0.5	0.1		1.6	
9	△ 1.6	△ 3.3	△ 2.4	0.6	△ 8.3	1.0	△ 1.1	1.7	△ 0.1	0.0		1.3	
10	△ 0.4	△ 0.8	△ 2.1	0.1	△ 8.3	0.9	△ 1.7	1.7	△ 0.5	0.1		2.0	
11	△ 3.1	△ 2.8	△ 9.7	0.1	△ 9.1	0.2	△ 2.2	2.2	△ 0.3	0.0		2.3	
12	△ 2.3	△ 2.2	△ 1.6	1.7	△ 8.2	0.2	△ 1.2	2.0	△ 0.3	0.0		2.7	
20年1月	△ 1.9	△ 0.7	△ 1.7	1.6	△ 2.7	0.9	△ 0.4	1.9	△ 0.1	0.2		3.1	
2	△ 0.3	△ 2.6	△ 0.2	1.5	△ 2.6	6.3	△ 0.4	2.0	△ 0.2	0.2		3.6	
3	△ 1.6	△ 4.8	△ 0.7	1.5	△ 2.6	0.9	△ 0.9	1.9	△ 0.5	0.1		3.9	
4	△ 7.6	△ 2.7	△ 0.2	0.8	△ 0.0	0.8	△ 0.3	1.8	△ 0.1	0.3		4.0	
5	△ 0.7	△ 7.4	△ 0.7	0.8	△ 0.8	0.9	△ 0.2	1.7	△ 0.5	0.2		4.9	
6	△ 6.1	△ 3.1	△ 2.2	0.4	△ 6.1	1.8	△ 0.5	1.5	△ 0.5	0.2		5.8	
7	△ 5.4	△ 1.8	△ 2.4	0.3	△ 0.8	1.0	△ 0.4	1.5	△ 1.5	0.1		7.3	
8	△ 2.9	△ 5.7	△ 3.6	0.1	△ 0.0	2.9	△ 0.1	1.5	△ 0.5	0.0		7.2	
9	△ 9.6	△ 2.5	△ 1.0	0.2	△ 10.2	2.7	△ 0.2	1.4	△ 0.9	0.1		6.8	
10	△ 5.0	△ 0.3	△ 0.5	0.1	△ 13.5	4.5	△ 0.1	1.3	△ 0.1	0.1		5.0	
11	△ 8.1	△ 1.2	△ 2.6	0.7	△ 14.8	7.0	△ 0.2	1.0	△ 0.3	0.1		2.8	
12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		P 1.1	
備考	四半期値は各期ごとの平均		全産業5人以上 平成17年=100				全産業5人以上 平成17年=100、平成16年の前年同期(月)比は、旧産業集計に				(国内総平均) 平成17年=100		
資料 出所			「毎月勤労統計調査結果速報」福島県 厚生労働省								「経済統計月報」 日本銀行		

区分	物価				企業・金融							
	20 消費者物価指数				21 企業倒産				22 金融機関預貸残高			
	福島市		全国		福島県		全国		福島県		全国	
年月	総合	生鮮食品 を除く総合	総合	生鮮食品 を除く総合	件数	負債総額	件数	負債総額	金融機関 預金残高	金融機関 貸出残高	国内銀行 預金残高	国内銀行 貸出残高
H17年	100.0	100.0	100.0	100.0	140	67,201	12,998	67,033	61,254	38,873	52,641	40,855
18	100.2	100.3	100.3	100.1	146	72,880	13,245	55,006	61,185	38,930	52,867	41,558
19	100.4	100.4	100.3	100.1	143	116,677	14,091	57,279	62,256	38,326	54,504	41,764
19年Ⅲ	100.4	100.4	100.4	100.2	38	18,405	3,465	16,809	61,326	38,030	53,915	41,269
Ⅳ	101.3	101.2	100.8	100.7	43	12,509	3,570	13,951	62,256	38,326	54,504	41,764
20年Ⅰ	101.1	101.1	100.7	100.6	47	28,957	3,715	14,194	61,590	38,238	55,234	41,942
Ⅱ	102.5	102.4	101.6	101.5	57	25,894	3,829	17,602	63,556	37,799	55,742	41,900
Ⅲ	103.5	103.6	102.6	102.5	39	17,230	4,034	68,958	62,534	38,133	55,208	42,072
19年4月	99.9	100	100.1	99.9	11	64,791	1,121	6,163	61,408	38,228	54,032	41,029
5	100.5	100.4	100.4	100.1	10	4,195	1,310	3,686	61,224	37,892	54,093	40,811
6	100.3	100.4	100.2	100.1	12	3,535	1,185	3,152	62,412	38,018	54,022	41,086
7	99.9	100.1	100.1	100.0	8	7,115	1,215	3,498	61,239	37,802	54,023	40,954
8	100.2	100.2	100.6	100.2	17	4,149	1,203	8,705	61,216	37,663	53,737	41,070
9	101.2	100.9	100.6	100.3	13	7,141	1,047	4,606	61,326	38,030	53,915	41,269
10	101.4	100.9	100.9	100.5	10	6,774	1,260	4,613	60,987	38,027	53,765	40,911
11	101.1	101.2	100.7	100.6	13	1,943	1,213	4,926	61,244	37,838	54,370	41,049
12	101.3	101.4	100.9	100.9	20	3,792	1,097	4,413	62,256	38,326	54,504	41,764
20年1月	100.9	100.8	100.7	100.5	20	11,778	1,174	5,812	61,569	38,018	54,430	41,548
2	101.0	101	100.5	100.4	10	3,957	1,194	3,652	61,593	37,986	54,576	41,621
3	101.5	101.5	101.0	100.8	17	13,222	1,347	4,730	61,590	38,238	55,234	41,942
4	101.5	101.4	100.9	100.8	19	12,265	1,215	7,181	62,287	37,829	55,327	41,630
5	102.8	102.6	101.7	101.6	17	5,428	1,290	5,498	62,489	37,856	55,234	41,705
6	103.3	103.2	102.2	102.0	21	8,201	1,324	4,924	63,556	37,799	55,742	41,900
7	103.3	103.4	102.4	102.4	14	3,030	1,372	6,653	63,043	37,989	55,209	41,860
8	103.6	103.5	102.7	102.6	10	2,090	1,254	8,680	63,224	38,104	55,082	41,887
9	103.6	103.8	102.7	102.6	15	12,110	1,408	53,625	62,534	38,133	55,208	42,072
10	103.3	103.5	102.6	102.4	22	3,899	1,429	10,077	62,298	38,237	54,813	42,381
11	102.2	102.5	101.7	101.6	13	3,786	1,277	5,761	62,750	38,335	-	-
12	-	-	-	-	23	4,007	1,362	6,327	-	-	-	-

対前年同月(期)比(%)												
H17年	0.0	0.1	△ 0.3	△ 0.1	△ 14.1	△ 34.6	△ 5.0	△ 14.3	△ 0.5	△ 1.0	1.5	1.1
18	0.2	0.3	0.3	0.1	4.3	8.5	1.9	△ 17.9	△ 0.1	0.1	0.4	1.7
19	0.2	0.1	0.0	0.0	△ 2.1	60.1	6.4	4.1	△ 1.8	△ 1.6	3.1	0.5
19年Ⅲ	0.3	0.1	△ 0.2	△ 0.1	18.8	△ 35.2	6.6	66.4	1.0	△ 1.9	2.3	0.0
Ⅳ	1.0	0.5	0.5	0.5	△ 4.4	△ 31.8	6.1	△ 10.8	1.8	△ 1.6	3.1	0.5
20年Ⅰ	1.4	1.3	0.9	1.0	62.1	118.7	8.0	5.0	0.9	△ 1.1	2.8	1.4
Ⅱ	2.3	2.1	1.4	1.5	72.7	△ 64.3	5.9	35.4	1.8	△ 0.6	3.2	2.0
Ⅲ	3.1	3.2	2.2	2.3	2.6	△ 6.4	16.4	310.3	2.0	0.3	2.4	1.9
19年4月	△ 0.3	△ 0.2	0.0	△ 0.1	△ 8.3	2,483.4	3.1	44.4	0.5	△ 1.3	1.4	0.6
5	0.0	△ 0.1	0.0	△ 0.1	△ 28.6	△ 53.6	20.9	△ 48.2	1.4	△ 1.1	1.9	0.3
6	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.1	9.1	△ 25.9	6.6	△ 17.2	2.0	△ 1.0	2.0	0.6
7	0.3	0.1	0.0	△ 0.1	△ 38.4	△ 58.5	15.6	12.8	0.9	△ 1.8	2.8	0.0
8	0.0	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.1	54.5	△ 53.8	2.9	113.6	0.9	△ 2.3	2.3	0.2
9	0.7	0.3	△ 0.2	△ 0.1	62.5	218.9	1.6	57.3	1.0	△ 1.9	2.3	0.0
10	0.8	0.1	0.3	0.1	△ 33.3	△ 30.6	8.0	△ 25.2	1.5	△ 1.4	2.6	0.1
11	0.7	0.4	0.6	0.4	8.3	△ 50.0	11.1	11.5	1.7	△ 2.0	2.9	△ 0.2
12	1.3	1.0	0.7	0.8	11.1	△ 19.1	△ 1.0	△ 12.7	1.8	△ 1.6	3.1	0.5
20年1月	0.7	0.7	0.7	0.8	122.2	794.3	7.6	1.3	2.0	△ 1.6	3.1	0.9
2	1.7	1.4	1.0	1.0	25.0	19.5	8.3	26.1	2.1	△ 1.5	3.1	1.6
3	1.9	1.7	1.2	1.2	41.7	53.5	8.0	△ 3.2	0.9	△ 1.1	2.8	1.4
4	1.6	1.4	0.8	0.9	72.7	△ 81.1	8.3	16.5	1.4	△ 1.0	2.4	1.5
5	2.3	2.2	1.3	1.5	70.0	29.4	△ 1.5	49.1	2.1	△ 0.1	2.1	2.2
6	3.0	2.8	2.0	1.9	75.0	132.0	11.7	56.1	1.8	△ 0.6	3.2	2.0
7	3.4	3.3	2.3	2.4	75.0	△ 57.4	12.9	90.2	2.9	0.5	2.2	2.2
8	3.4	3.3	2.1	2.4	△ 41.2	△ 49.6	4.2	△ 0.2	3.3	1.2	2.5	2.0
9	2.4	2.9	2.1	2.3	15.4	69.5	34.4	1,064.2	2.0	0.3	2.4	1.9
10	1.9	2.6	1.7	1.9	120.0	△ 42.4	13.4	118.4	2.1	0.6	2.0	3.6
11	1.1	1.3	1.0	1.0	0	94.9	5.2	16.9	2.5	1.3	-	-
12	-	-	-	-	15.0	5.6	24.1	43.3	-	-	-	-
備考	平成17年=100				負債総額1,000万円以上				年・期・月末残高 県の預貸残高は銀行・第2地銀・信用金庫 ・信用組合の計 国の預金残高は実質預金			
資料	「消費者物価指数」総務省統計局				「福島県企業倒産状況」株式会社東京商工リサーチ福島支店・郡山支店				福島県金融経済概況「金融経済統計月報」日本銀行			
出所	「全国企業倒産状況」株式会社東京商工リサーチ				「福島県金融経済概況」日本銀行福島支店 「金融経済統計月報」日本銀行							



区分	企業・金融		中小企業の業況							市場	
	23 貸出約定平均金利		24 中小企業業況判断DI							25 株式	26 円相場
	年月	福島県	全国	全産業	製造業	非製造業	福島県				東証株式 (第1部)
地元地銀 3行		国内銀行	建設業				卸売業	小売業	サービス業		
	(%)	(%)								(円)	(円/米ドル)
H17年	2.075	1.623	-	-	-	-	-	-	-	12,422.58	113.26
18	2.165	1.766	-	-	-	-	-	-	-	16,110.38	116.31
19	2.245	1.945	-	-	-	-	-	-	-	16,996.33	117.77
19年 III	2.255	1.933	-	-	-	-	-	-	-	16,908.21	117.88
IV	2.245	1.945	-	-	-	-	-	-	-	16,026.60	113.16
20年 I	2.248	1.926	-	-	-	-	-	-	-	13,668.42	105.16
II	2.203	1.913	-	-	-	-	-	-	-	13,809.38	104.52
III	2.163	1.913	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	12,777.19	107.63
19年4月	2.242	1.858	-	-	-	-	-	-	-	17,469.81	118.83
5	2.255	1.873	-	-	-	-	-	-	-	17,595.14	120.73
6	2.267	1.892	△ 26.1	△ 17.3	△ 33.1	△ 61.4	△ 26.1	△ 33.0	△ 22.8	18,001.37	122.62
7	2.241	1.902	-	-	-	-	-	-	-	17,974.77	121.59
8	2.247	1.917	-	-	-	-	-	-	-	16,460.95	116.72
9	2.255	1.933	△ 35.5	△ 21.8	△ 46.6	△ 60.0	△ 43.0	△ 52.1	△ 31.8	16,235.39	115.02
10	2.241	1.938	-	-	-	-	-	-	-	16,903.36	115.74
11	2.247	1.938	-	-	-	-	-	-	-	15,543.76	111.21
12	2.245	1.945	△ 41.4	△ 24.5	△ 55.6	△ 76.2	△ 43.8	△ 54.6	△ 55.3	15,545.07	112.34
20年1月	2.262	1.930	-	-	-	-	-	-	-	13,731.31	107.66
2	2.262	1.922	-	-	-	-	-	-	-	13,547.84	107.16
3	2.248	1.926	△ 39.1	△ 31.2	△ 46.0	△ 53.7	△ 53.1	△ 40.0	△ 42.6	12,602.93	100.79
4	2.226	1.916	-	-	-	-	-	-	-	13,357.70	102.49
5	2.206	1.916	-	-	-	-	-	-	-	13,995.33	104.14
6	2.203	1.913	△ 50.8	△ 43.3	△ 57.3	△ 58.6	△ 46.4	△ 60.7	△ 63.6	14,084.60	106.90
7	2.187	1.910	-	-	-	-	-	-	-	13,168.91	106.81
8	2.158	1.908	-	-	-	-	-	-	-	12,989.35	109.28
9	2.163	1.913	△ 56.8	△ 51.1	△ 61.8	△ 68.7	△ 61.0	△ 63.9	△ 55.0	12,123.53	106.75
10	2.145	1.906	-	-	-	-	-	-	-	9,117.03	100.33
11	2.160	1.889	-	-	-	-	-	-	-	8,531.45	96.81
12	-	-	△ 73.4	△ 79.4	△ 68.4	△ 64.4	△ 62.5	△ 72.7	△ 70.5	8,463.62	91.28

	対前月(期)											
H17年	△ 0.102	△ 0.109	-	-	-	-	-	-	-	1,243.33	5.77	
18	0.090	0.143	-	-	-	-	-	-	-	3,687.80	3.05	
19	0.080	0.179	-	-	-	-	-	-	-	885.95	1.46	
19年 III	△ 0.012	0.041	-	-	-	-	-	-	-	△ 784.10	△ 2.88	
IV	△ 0.010	0.012	-	-	-	-	-	-	-	△ 881.61	△ 4.72	
20年 I	0.003	△ 0.019	-	-	-	-	-	-	-	△ 2,358.18	△ 8.00	
II	△ 0.045	△ 0.013	-	-	-	-	-	-	-	140.97	△ 0.65	
III	△ 0.040	0.000	-	-	-	-	-	-	-	△ 1,032.19	3.11	
19年4月	0.044	0.029	-	-	-	-	-	-	-	341.44	1.55	
5	0.013	0.015	-	-	-	-	-	-	-	125.33	1.90	
6	0.012	0.019	△ 4.4	△ 7.1	△ 2.0	△ 9.1	△ 15.3	6.1	5.9	406.23	1.89	
7	△ 0.026	0.010	-	-	-	-	-	-	-	△ 26.60	△ 1.03	
8	0.006	0.015	-	-	-	-	-	-	-	△ 1,513.82	△ 4.87	
9	0.008	0.016	△ 9.4	△ 4.5	△ 13.5	1.4	△ 16.9	△ 19.1	△ 9.0	△ 225.56	△ 1.70	
10	△ 0.014	0.005	-	-	-	-	-	-	-	667.97	0.72	
11	0.006	0.000	-	-	-	-	-	-	-	△ 1,359.60	△ 4.53	
12	△ 0.002	0.007	△ 5.9	△ 2.7	△ 9.0	△ 16.2	△ 0.8	△ 2.5	△ 23.5	1.31	1.13	
20年1月	0.017	△ 0.015	-	-	-	-	-	-	-	△ 1,813.76	△ 4.68	
2	0.000	△ 0.008	-	-	-	-	-	-	-	△ 183.47	△ 0.50	
3	△ 0.014	0.004	2.3	△ 6.7	9.6	22.5	△ 9.3	14.6	12.7	△ 944.91	△ 6.37	
4	△ 0.022	△ 0.010	-	-	-	-	-	-	-	754.77	1.70	
5	△ 0.020	0.000	-	-	-	-	-	-	-	637.63	1.65	
6	△ 0.003	△ 0.003	△ 11.7	△ 12.1	△ 11.3	△ 4.9	6.7	△ 20.7	△ 21.0	89.27	2.76	
7	△ 0.016	△ 0.003	-	-	-	-	-	-	-	△ 915.69	△ 0.09	
8	△ 0.029	△ 0.002	-	-	-	-	-	-	-	△ 179.56	2.47	
9	0.005	0.005	△ 6.0	△ 7.8	△ 4.5	△ 10.1	△ 14.6	△ 3.2	8.6	△ 865.82	△ 2.53	
10	△ 0.018	△ 0.007	-	-	-	-	-	-	-	△ 3,006.50	△ 6.42	
11	0.015	△ 0.017	-	-	-	-	-	-	-	△ 585.58	△ 3.52	
12	-	-	△ 16.6	△ 28.3	△ 6.6	4.3	△ 1.5	△ 8.8	△ 15.5	△ 67.83	△ 5.53	
備考	(総合)		前年同期(月)と比較して、業況が「良化」と回答した企業の割合から							日経平均(225種)		(期中平均値)
	年・月末残ベース		「悪化」と回答した企業の割合を減じた数値 (四半期末時点)							(期中平均値)		
資料	「福島県金融経済概況」日本銀行福島支店		財団法人福島県産業振興センター							日本経済新聞社		日本経済新聞社
出所	「金融経済統計月報」日本銀行											

**製 造 業**

- 3か月先を概ね良化とみておりますが、業種的に季節的要因の占める部分大きい。マクロ的には不況による消費意欲の低下が懸念される。【食料品】
- 百年に1度の大恐慌、やりがいのある環境、思いっきり会社を変化させ乗りきりたいと思います。先を憂えず過去にとらわれず進化・進化です。【食料品】
- 生産燃料の重油は、価格が値下げとなっているが、原料の大豆、小麦は価格が下がっていない。また、ペットボトル、段ボール、紙、その他、諸々の資材は全て値上げされ、粗利益は減少している。【食料品】
- 自社田による酒米栽培が軌動に乗り、安全安心、情報公開により我が社の酒はフォローの風を受けている。【酒造】
- デパートの客足低下が影響してメーカーも売上が減少し、今後の生産見通しが立たず、春以降の向上を祈る。【縫製】
- 前年に比べ生産高6.9%、今年も悪化です。【木材・木製品】
- 先の仕事の状況が見えず困っております。【木材・木製品】
- 緊急保証制度が始まったが、中小企業側の立場に立ったものとなっていない。【木材・木製品】
- 20~30%のパイが縮小すると思われるが、予測不能。【印刷】
- 入札制度により地域外の業者の落札が多くなり、与信管理に頭を痛めている。公共工事の大幅な減少に加え、民間工事の激減が心配され、すべての面で悪化が予想される。【窯業・土石】
- 受注減の為、12月下旬から1月にかけて12日間休み。1月は週3~4日稼働でも受注不足である。【鉄鋼・非鉄】
- ほとんどの取引先からの受注が減少した。忙しいのは、介護、医療器の分野だが、生産量が少ない。【金属】
- 自動車関連業で急激に業況が悪化しており、現在のところ見通しがわかりません。【金属】
- 現状、受注は前年比40%減、3ヶ月先行きは前年比半減の見込みである。人員は40%過剰である。【一般機械】
- 造船・重電関係は変動が少ないが、自動車関連の景気急落により影響大。【一般機械】
- この景気、なんとかして欲しい! 【一般機械】
- アルミ材料は1月より値下げとなりました。【一般機械】
- 益々悪化が予想されます。【一般機械】
- 先行き大変不安な状況です。県発注工事は、使用資材についても県内業者を利用してほしい。【電気機器】
- 先行きが全く不透明である。予定の話は出て居るが、その時になって見ないとなんとも言えないのが現状である。【電気機器】
- 50%以上の減産。【電気機器】
- H21年1月以降の受注見通しはほとんど無く、今後中小

- 企業の倒産が大量に発生し、平成の大恐慌に入って行くと考えます。【電気機器】
- この現況がどこまで沈むのか、いつまで続くのか先行き不明です。当面過剰人員をどうすれば良いのかが問題です。【電気機器】
- 先行きは3か月後には、悪化するのではないかと懸念しております。【輸送用機器】
- 昨年11月頃から受注が20%減少している。【精密機器】
- 11月より大幅な下降となって来たが、1月~2月の見通しは更に悪化する。【プラスチック】

**建 設 業**

- 国、県が我々の為に何をやるかだけでなく、私達が地域の為に何が出来るか実行すること。【建築】
- 下期は下方修正。【建築】

**卸 売 業**

- 11月より急速に売上が減少に転じました。これからも悪化すると思われます。【衣服】
- 今までにない厳しい12月です。【衣服】
- 経済の動向によって、消費需要が冷え込むのを心配している。【青果物】
- 住宅着工数減少にともなう受注減が目立ってきています。また、輸入材の入荷が少なく国産材にシフトしていますが、動きがありません。【建築材料】
- 高い仕入の在庫処理が大変です。【その他】

**小 売 業**

- 制度融資借入申込の際の審査が厳しく借入できなかった。現状厳しく不安がいっぱいである。【中小スーパー】
- 先行き不安で見えない。指針を示して欲しい。【衣料】
- 酒販業は早いスピードで売上が減少してます。新しい方向づけにつとめて居り、少しずつは見えて来た様な気もしますが、先行きがわかりません。【飲食料】
- 不況感が強くなった。【飲食料】
- 10月より急激に売上が減少し、消耗品の交換(ランプ等)も昨年の1/3位に低下している。【家電品】
- 売上げの悪化により、借入金返済のメドがつかない。何とかしたいのだがどうしたらよいものか……。【家電品】
- 売上が低下し、景気が悪くなるにつれ増々低下する。【自動車販売】
- 景況感が非常に悪く、個人消費は生活防衛意識の高まりから、衣料品等が特に影響を受けている。【大規模店】
- 12月としては、昨年の過去最低売上げを更に大きく下げている。【その他】

**サ ー ビ ス 業**

- 来年は最悪になると思います。倒産かも? 【旅館・ホテル】
- 9月以降、目にみえて売上が減少している。固定費が高い業種なので、何とも経営がきつい。【旅館・ホテル】

- 現在、重油単価等が低くなってきたことから、なんとか資金繰りが成り立っている。 【旅館・ホテル】
- 9月以降の夜間の運行は近年になく低迷してます。12月に入り期待はしたもののあまり結果が出ず、市場の外的要因が大きく影響している様子です。(他社も) 【タクシー】
- 先の見通しが悪い。 【その他】

### 食品製造業

#### (1) 豆腐油揚:

原油価格の低下が好影響を与えてくれるのはまだ先の模様。食用油は高止りのままである。大豆も先行どのくらい下がるかも模索中との商社の話である。

#### (2) 味噌醤油:

1. 原油価格も徐々に下がる傾向になりつつも、相変わらずその恩恵がなく、味噌・醤油の主原料の大豆・小麦の価格は高い水準で流通されているのが現実です。特に遺伝子組換えでない大豆は、国内産では安定供給が不安であり、品質にもバラツキ、海外産に依存することになっています。しかしながら、遺伝子組換え大豆が全体作付の92%以上を占めており、遺伝子組換えでない原料価格は、プレミアムがさらにアップ。値下げどころか、価格は上昇し続けているのが現実です。

2. 18年ぶりに、味噌・醤油の価格転嫁を各組合員がそれぞれ実施したものの、調味料や資材等は現時点で更なる価格アップの要望が取引先より出ているものもある状況。

3. 一方、大手スーパーでは、日用品や一部の食料品を値下げするとの情報も出ていることで、当県の業界・組合員は21年度に向け、不安や経営に悩んでいる状況です。

#### (3) 酒造:

売上げが低調。吟醸・純米は前年並だがレギュラー酒が悪い。ギフトも低調。原料米・資材の値上りが痛い。

### 繊維・同製品

#### (4) ニット:

組合員の脱会届2件あり。

#### (5) 縫製品:

昨年来の国際金融の混乱が結果的に国内の衣料品消費を直撃しているため、メーカーの発注控えが発生し、生産工場の死活問題となりそうな気配を感じる。

### 木材・木製品製造業

#### (6) 製材業:

製材業:資金面での支援策はあるが、木材業界(特に中小、個人)においては、利用が進んでいないようである。これだけ荷動きが悪いと、返済への不安も大きく、借入にも消極的とならざるをえない。

#### (7) 外材輸入:

全国の新設住宅着工件数は10月より前年比マイナスに転じており、11月～12月も同様である。すでに12月中旬より荷動きは極端に悪化している。1～3月の不需要期と更に首都圏のマンションバブル崩壊と重なり、21年前半どのような展開になるのか予断を許さない状況下にあります。

### 紙・紙加工品製造業

#### (8) 紙器・段ボール箱:

紙器用板紙の値上攻勢がさらに一段と強硬に

なっている模様が伝えられ、現在ケース価格修正は思うように進んでいないのが現状だが、今行動を起こさなければ逆ザヤになってしまい、存続の危機にさらされる状況にある。

### 印刷

#### (9) 印刷:

印刷:9月の金融危機以来、受注額が減少している様です(県内全体)。役所の年度末の仕事量も減少すると思われ。1月～3月も更に厳しくなるのではと思われ。

### 窯業・土石製品製造業

#### (10) 陶磁器:

冬季に入ったため売上げは落ちている。特に年末商戦には向かない。

#### (11) 砕石(県北地区):

1. 売上高 対前月比13.8%の増
2. 対前年同月3.0%の減
3. 全数量で対前年10.1%の減
4. 再生骨材の代用品としての出荷は、対前年1.3%の減

当砕石業界の景気の悪化は全国的なものであり、特に東北地方は、昨年対比、大幅な出荷減となっており、今後の経営方針の転換を迫られている。

#### (12) 砕石(いわき地区):

年度末に向け忙しい時期であるが現状は厳しい見通しである。

#### (13) 生コン:

平成20年12月の組合員生コン出荷数量は対前月比100.0%、及び対前年同期比89.6%と、依然として出荷数量は低調である。

12月の民需は対前年12.3%の減、官公需は対前年13.6%の減と共に減少し、12月分の出荷数量に占める官公需の割合は46.2%と引き続き低調。

一般的に出荷数量の減少傾向の中で、特需があり対前年同月比増加した地区は下記の通り。

#### 官公需の増加した地区:

- 県北地区…対前年同月3.2%の増  
高速道路トンネル工事等
- いわき地区…対前年同月80.9%の増  
トンネル、港湾関係工事

#### 民需の増加した地区:

- 会津地区…対前年同月189.1%の増  
病院、工場新築工事

### 鉄鋼・金属・一般機械製造業

#### (14) 鉄鋼:

仕事量が少ない為に残業時間を無くし、休日を多くしている企業も出て来た。

#### (15) 各種プラント機器:

当組合のプラント設備関連業界は、新年度に入り厳しい状況は続いている。特に顧客が期末に向かっている所が多く、新たな案件は凍結延期となっており状況は好転していない。

#### (16) 電子工業:

当組合員も含めて、周辺の中小企業に於いては事業の閉鎖縮小及び廃業の時期を検討し始めている企業が出ています。今後の受注状況は悪化傾向が一段と進み厳しい現状に変わりなし。

## 卸売業

(17) 卸売業 (県中地区) :  
比較的暖かかったせいか冬物商品の売行きはよくなかった。高額商品の売上も芳しくない。小売店は在庫をできるだけ持たないよう徹底してしぼっている。

(18) 再生資源 :  
12月年末月は、鉄スクラップ・非鉄金属の悪化に追討ちをかける様に故紙原料の中国輸出のストップと、国内メーカーの減産が続き、数量制限と荷止めが続き、在庫が異常に増加、あふれて来て一部業者に資金繰りのつまづきが起こりはじめている。この状態が長く続くと再生資源原料がゴミ化される危険性がある。以前からおそれていたことが起きかねない。

(19) 卸売業 (県南地区) :  
1. 売上高・収益状況が前月対比やや好転した。  
2. 年末商戦に若干活気が見られ、商品の流通が多くなった。  
3. 銀行の融資金利が下がり、資金繰りにも好影響があった。  
4. ガソリン価格の下落があったが、運送業の業務量が減少した。

## 小売業

(20) 共同店舗 (浜通り地区のOショッピングセンター) :  
12月は、上旬から中旬にかけての歳末セールが思うように伸びず、何度か単発のイベント開催の影響で客足が伸び、飲食店関係が好調だったが、総体では衣料品関係が振るわず、前年を下回った。

(21) 共同店舗 (県中地区のNショッピングセンター) :  
秋口から売上げの低下傾向が続いているが、年末に来て、さらに強まった感がする。特に客数の減少が気になる。

(22) 石油 :  
12月元売仕切値下げにより、小売価格が大幅に下落。年末年始の大型連休にもかかわらず、採算割れの経営状況となった。

(23) 米穀 :  
市場全体の荷動きは悪い。消費者末端価格は相変わらず不安定のうちに推移、業界全体として今後の見通しは暗く、景況は悪化の方向にある。

(24) 電機 :  
年末に入り価格競争の激しさが増大している。液晶テレビ、プラズマテレビ共に量販店同士の価格競争に地域店が巻き込まれている。一般消費者のこの所の不景気ムードに財布のひもが堅くなってきているので一週間もたたぬ内にテレビが4~8万ぐらい値引をし、お互いに価格競争が激化している。今年(21年度)は大変厳しい年になる事を覚悟しなければならぬと思う。オール電化・消エネ電化に力を入れなければならない。量販店も最近オール電化に力を入れて来ている。

## 商店街

(25) 商店街 (福島市) :  
例年になく悪い年末商戦だ。消費者の買控えを強く感じる。

(26) 商店街 (郡山市) :  
12月は前年を大きく下回りかなりの落ち込みで

あったが、初売りについては、昨年と比べてやや減少の所が多かったようである。しかし、今年は正月期間が短く、5日から平日になるため、やはり前年同月比は、大きく減少しそうである。駅前デパート、3月には病院の撤退など中心市街地を取り巻く環境の悪化と、雇用解雇、企業業績低下など社会的環境の悪化が、ダイレクトに影響を受けてます。先行きの見えないまま新年を迎えましたが、流通業界がまず最初に景気に左右されるので、今後の成り行きに目を見張らなければならない。

(27) 商店街 (南相馬市) :  
貸し渋り、貸し剥がしの調査ばかり来るこの頃ですが、相変わらず中小企業の我々には寒く暗い正月を迎える様な気がする。会員にも聞けば金策に疲れたし、年だからと言う閉店予定者。今後如何なるのか不安だと言う会員。全く明るさの見えない日々である。超大型店開店も目途が立たない様になったことは喜ばしいことかな?なんて言って我慢している毎日が空しい。

(28) 商店街 (いわき市) :  
先月の下旬~“厳しい!” “悪い!” の声ばかり。商店街を歩くお客様も年々減って来ている。12月恒例花プレゼントセールもマンネリ化で動員効果はなかった。大型店やSCのセール開始も早く、お客様は流れているみたいだが、良い話は聞かない。

## サービス業

(29) 旅館業 (土湯温泉) :  
景気の悪化により、忘新年会の声が少ない。また、年末年始は長期休暇になるも、宿泊予約状況は、年末の31日と元旦が混んでいる程度である。

(30) 旅館業 :  
国民の大半が時間とお金があれば観光温泉旅行をしたいという願望がある。しかし現在の消費者は、節約・低価格志向と進んでいる如何にこのマインドを旅行・観光へ転換できるか大きな課題である。忘年会の時期ではあったが、団体の手配は減少、個人・グループの手配はやや減少した。

## 建設業

(31) 建設業 (県一円) :  
20年度一次補正予算の執行による緊急金融支援対策で建設業界からの借入れが多いようだが、それだけに地元金融機関の建設業に対する締め付けが厳しくなっている。

(32) 建設業 (県南地区) :  
公共工事の発注は前月よりかなり減少している。国の景気拡大策の中に1月以降公共工事の増加発注がないと前年より大幅なダウンとなる。民需も住宅を始め、工場等の設備投資が昨年より減少しているため発注がない。

(33) 管工事 :  
前月比では給水・排水設備申請とも増加。前年同月累計対比では給水設備申請が減少し、排水設備申請は増加している。

(34) 専門工事 :  
金融危機による不況が深刻となっているが、建設産業はすでに危機状態をむかえており、今回の不況によりさらに大きな影響があるとは思えない。もしこの影響があるとすれば建設産業は成り立たない事になる。よって現在の低調のまま推移すると思われる。ただ、建設元請の資金繰りは苦しさを増している様に感じる。

## 運輸業

(35) トラック運送 (県北地区) :  
トラック運送 (県北地区) : 昨秋からの荷動きの減速により、厳しい経営実態を訴える経営者が増えている。中には、荷主の動向を反映して車両台数の減少や雇用調整を行っている企業も見られている。

(36) ハイヤータクシー :  
前月比微増ではあるが、前年運賃改定をしていることを考えると、前年比変わらずでは…

### 3 農林水産業の動向(平成20年12月分)

福島県 農林水産部

#### (1) 野菜 (JA全農福島県本部扱販売実績 12月分)

品目名	販売数量	販売金額
野菜全般	2,187 t (前年同月比 120%)	835,109千円 (前年同月比 98%)
にら	290 t (前年同月比 101%)	190,542千円 (前年同月比 98%)
いちご	98 t (前年同月比 120%)	134,296千円 (前年同月比 105%)
しいたけ	98 t (前年同月比 85%)	113,857千円 (前年同月比 84%)

#### (2) 果実 (JA全農福島県本部扱販売実績 12月分)

品目名	販売数量	販売金額
果実全般	2,141 t (前年同月比 118%)	750,276千円 (前年同月比 84%)
あんぽ柿	372 t (前年同月比 89%)	499,160千円 (前年同月比 81%)
りんご	1,465 t (前年同月比 125%)	195,382千円 (前年同月比 90%)
生柿	214 t (前年同月比 162%)	25,106千円 (前年同月比 115%)

## 4 景気動向指数(福島県)

### 概 括

10月の景気動向指数(CI:コンポジット・インデックス)は、先行指数83.6ポイント、一致指数82.4ポイント、遅行指数128.9ポイントとなった。

- 先行指数は、前月(88.1ポイント)を4.5ポイント下回り、2か月連続の下降となった。
- 一致指数は、前月(87.2ポイント)を4.8ポイント下回り、5か月連続の下降となった。
- 遅行指数は、前月(130.1ポイント)を1.2ポイント下回り、2か月連続の下降となった。

図1 景気動向指数(CI)グラフ <一致指数> (H17=100)



※CI(Composite indexes) : 景気変動の勢いや大きさとといった、景気の強弱を定量的に計測する指数であり、採用系列の変化率(前月比)を合成して作成。

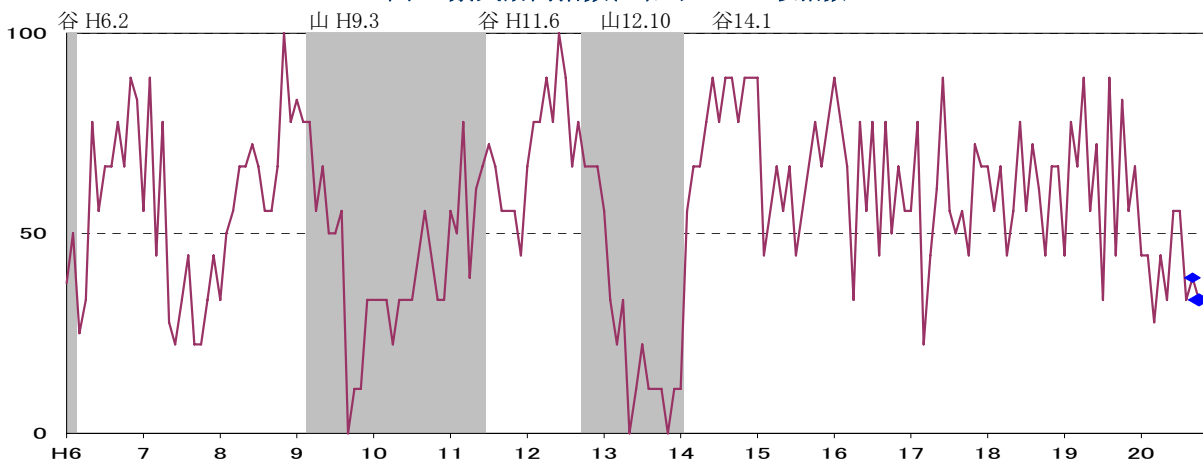
※グラフ上の景気基準日付のうち、シャドウ部分は景気後退期を示している。

CI指数表

区 分	景 気 動 向 指 数 (CI指数)					
	福島県(平成20年12月26日公表)			全 国(平成21年1月9日公表)		
年 月	先行指数	一致指数	遅行指数	先行指数	一致指数	遅行指数
H20.5	100.8	101.3	131.0	92.3	103.7	102.2
6	94.0	97.1	129.4	91.0	102.4	100.7
7	93.5	95.2	130.5	91.3	103.1	100.4
8	94.9	92.3	133.1	89.0	100.2	99.4
9	88.1	87.2	130.1	89.2	100.1	97.9
10	<b>83.6</b>	<b>82.4</b>	<b>128.9</b>	85.2	97.7	98.2
採用指標数	8指標	9指標	7指標	12指標	11指標	6指標
資 料 所	県:統計分析課「福島県景気動向指数」			rは訂正值、Pは速報値		
出 所	国:内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」					

※一部の計数は速報値を用いており、確報訂正により、前回発表の計数と相違する場合があります。

図2 景気動向指数(DI)グラフ <一致指数>



※DI(Diffusion Indexes) : 景気局面とその転換点の把握を目的として、採用系列の変化の方向(3か月前比)を合成して指数を作成。

おおむね3か月連続して50%を上回っていれば景気拡張局面、下回っていれば景気後退局面と判断される。

## 5 「福島県金融経済概況」

平成21年1月8日 日本銀行福島支店

### ○ 県内景気は、世界的な景気減速の影響を受け、製造業において生産水準を一段と引き下げ る動きがみられるほか、雇用環境も厳しさを増すなど、悪化が続いている。

(総合判断 前月据置)

すなわち、最終需要をみると、個人消費では、雇用不安や景気の先行きに対する不透明感の強まりから消費者マインドが厳しさを増しており、弱めの動きがさらに広がっている。住宅投資は、貸家建設が減少したことを主因に前年を大幅に下回った。公共投資も、年度初来からの累計額としては低調に推移している。設備投資については、受注減少や収益悪化から製造業を中心に下方修正する動きがみられる。

鉱工業生産動向をみると、内外需要の急速な落ち込みを受け、生産水準を引き下げる動きが一段と強まっている。

雇用面では、製造業を中心に雇用を調整する動きが強まっており、厳しさが増している。

消費者物価指数は、円高や原油価格下落を背景に下落傾向にあるものの、食料品を中心に引き続き高水準となっている。

## 6 「月例経済報告」

平成21年1月20日 内閣府

### ○ 景気は、急速に悪化している。(総合判断 下方修正)

- ・ 輸出、生産は、極めて大幅に減少している。
- ・ 企業収益は、大幅に減少している。設備投資は、減少している。
- ・ 雇用情勢は、急速に悪化しつつある。
- ・ 個人消費は、このところ弱含んでいる。

先行きについては、当面、悪化が続くとみられ、急速な減産の動きなどが雇用の大幅な調整につながる懸念される。加えて、世界的な金融危機の深刻化や世界景気の一層の下振れ懸念、株式・為替市場の大幅な変動の影響など、景気をさらに下押しするリスクが存在することに留意する必要がある。



(政策の基本的態度)

政府は、当面は「景気対策」、中期的には「財政再建」、中長期的には「改革による経済成長」という3段階で、経済財政政策を進める。当面、景気対策を最優先で進めるため、1月5日、「生活対策」及び「生活防衛のための緊急対策」を実施するための平成20年度第2次補正予算を国会に提出した。

政府は、12月24日、「持続可能な社会保障構築とその安定財源確保に向けた『中期プログラム』」を閣議決定した。また、1月19日、「経済財政の中長期方針と10年展望」及び「平成21年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」を閣議決定し、平成21年度予算を国会へ提出した。

日本銀行が、内外の厳しい経済金融情勢の下、政府とマクロ経済運営に関する基本的視点を共有し、適切かつ機動的な金融政策により経済を下支えすることを期待する。

## 7 「最近の県経済動向」総合判断

	12月(12月25日公表)	1月(1月26日公表)
総合判断	<p>県内の景気は、世界的な金融危機と実体経済の悪化を背景に、生産活動では在庫が積み上がり、生産の調整が急速に進むなど弱い動きが広がり、個人消費も弱く推移し、雇用も引き続き厳しく、<b>全体的に悪化しつつある。</b></p> <p>(総合判断: 下方修正)</p> 	<p>県内の景気は、世界的な金融危機と実体経済の悪化を背景に、生産活動は減少し、雇用がさらに厳しさを増し、個人消費も弱い状態が続くなど<b>悪化している。</b></p> <p>(総合判断: 下方修正)</p> 







「最近の県経済動向」はホームページでも御覧いただけます。

URL <http://www.pref.fukushima.jp/toukei/>

※ 次回公表予定日は平成21年2月下旬です。

#### ■ 御利用にあたって ■

「最近の県経済動向」では、本県経済の動向の判断に資するよう、県内の経済状況をマクロ的観点から簡潔に概況を述べ、視覚的にもとらえやすくできるようグラフも併せて示しています。

採用している経済指標については、経済統計上の重要性、速報性に着目して26の指標を選んで、全国の推移状況とも比較できるようにしています。さらに、福島県景気動向指数の要点をグラフで示しています。

また、参考として「農林水産業の動向」や県内の景況感に県民の生の声を反映させることを目的に、(財)福島県産業振興センターの中小企業経営動向調査の中の「自由意見」(四半期公表)や福島県中小企業団体中央会が行っている「中小企業景況レポート」(月次公表)を掲載しております。さらに、日本銀行福島支店の「福島県金融経済概況」、内閣府の「月例経済報告」の中から毎月の概要を抜粋して掲載しております。

#### ■ お願い ■

本統計表から抜粋又は新たに資料を作成して利用する場合は、『福島県 最近の県経済動向から抜粋(又は作成)』と御記入くださるようお願いいたします。

福島県企画調整部統計分析課

〒960-8670 福島市杉妻町2番16号

電話 024(521)7143 内線 (2432)

FAX 024(521)7914

E-mail [toukei\\_bunseki@pref.fukushima.jp](mailto:toukei_bunseki@pref.fukushima.jp)